

松本市総合計画策定に係る 市民意見収集報告書

目次

| | |
|----------------------|----|
| はじめに | 2 |
| 1 ワークショップ形式での意見交換会結果 | 3 |
| (1) 大学生を対象とした意見収集 | 4 |
| (2) 20～30代を対象とした意見収集 | 13 |
| (3) 一般市民を対象とした意見収集 | 23 |
| 2 Webでの意見募集結果 | 32 |
| 3 公共施設での意見収集結果 | 38 |

はじめに

松本市総合計画策定に向け、市民が感じている課題や今後、松本市が力を入れるべき取り組みをより深く把握するため、以下の3つの方法で意見収集を行った。

1. ワークショップ形式での意見交換会

- 市民が感じている課題や今後力を入れるべき取り組みをより深く、把握するため、ワークショップ形式での意見交換会を実施した。
- ワークショップは、本市の主要課題である人口減少の抑制に向けて、重要な層である若い世代のニーズを把握するため、「大学生」「20～30代」を対象に意見収集の場を設定した。また多世代における意見収集の場も設定し、幅広い意見を収集した。
- 対象者は松本市在住者とし、事前申込み制で実施した、各回の参加者は右記の方法で、市民に広く周知し、合わせて67名の参加があった。

2. Webでの意見収集

- ワークショップや意見収集している公共施設に足を運ぶことができない市民からもまちづくりに対する意見を得るため、Webページを開設し、意見を募った。ワークショップと同様、広報まつもとやFacebook等で周知し、59名の市民から意見があった。

3. 公共施設での意見収集

- 公共施設に訪れた市民に気軽に、意見を寄せてもらうことを目的に実施した。市内8施設で実施した。

広報手段

- 広報まつもと
- 市ホームページ、Facebook、Twitter
- 受託者のホームページ、Facebook
- 市民アンケートへのチラシの同封 など

開催結果

| 対象者 | 開催日 | 参加人数 |
|------------|------------------------------|------|
| (1) 大学生 | 令和元年12月15日（日） | 18人 |
| (2) 20～30代 | 令和2年1月19日（日） | 16人 |
| (3) 一般市民 | 令和2年1月19日（日） 令和2年1月25日（土） | 33人 |

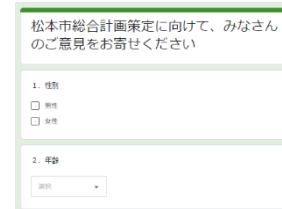
▼ワークショップの案内チラシ



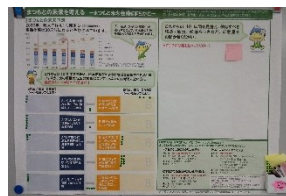
▼開設したWebページ



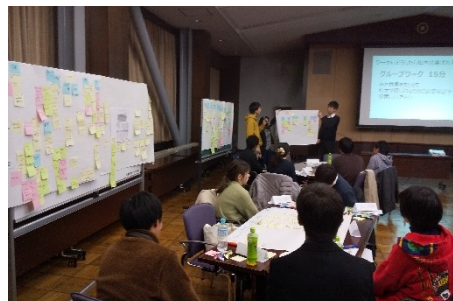
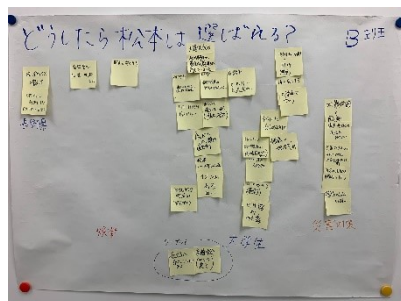
▼回答ページ



▼公共施設での掲示

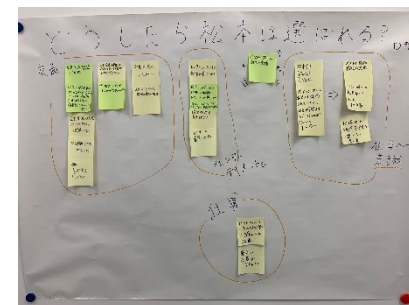
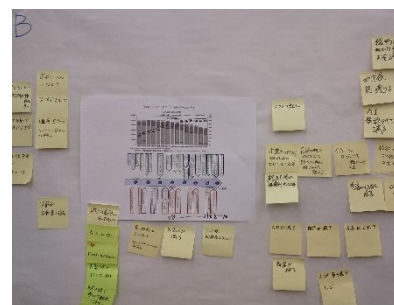


1. ワークショップ形式での意見交換会結果



(1) 大学生を対象とした意見収集

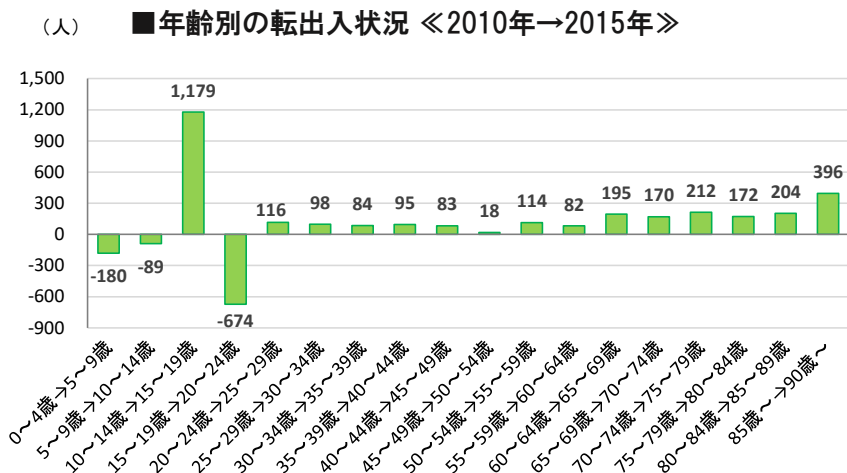
松本市が若者に選ばれる街になるために



大学生を対象とした意見収集の実施概要

背景と目的

- 松本市の年齢別の転出入状況（2010年→2015年）をみると、10代後半で転入が多く、20代前半で転出が多い状況である。若者は、高校や大学への進学に伴い転入し、卒業を機に市外へ転出していると考えられる。
- 若年層の移住定住促進施策立案に向けた検討材料を収集するため、大学生自身が住みたい場所、松本に感じている魅力、課題、若者に選ばれるための方策について把握した。



出典：内閣府「RESAS」

実施方法

- 模造紙や付箋を使ったワークショップ形式
- 各テーブルにはファシリテーターを入れ、議論の整理等を行った。

参加者数

市内在住の大学2～4年生 18人

実施概要

日時：令和元年12月15日（日）
13：30～16：30

実施場所：松本市役所大会議室

ワークショップの流れ

| | | 時間 |
|--------|---|---------|
| 1 | はじめに | 開会のあいさつ |
| | | 進め方の共有 |
| 10分 | | |
| 2 | 自己紹介 松本に住み続けたいですか？ | 5分 |
| 3 | <ワーク1>住む場所は何で選びますか？ 将来、住む場所は、どんなことで選びますか？ 「こんな場所には住みたくない！」条件はありますか？ | 50分 |
| 休憩（5分） | | |
| 4 | <ワーク2>未来年表ワーク | 30分 |
| 5 | <ワーク3> 松本の魅力やもっとこうだいいところとは？ みなさんにとって“松本の魅力”と“もっとこうだいいところ”はどんなところですか？ | 30分 |
| 休憩（5分） | | |
| 6 | <ワーク4> どうしたら松本は若者に選ばれる？ これまでのワークをふまえて、松本が若者に選ばれるために必要な取組みなどについて、ご意見をください！ | 40分 |
| 7 | 閉会のあいさつ | 5分 |

参加者の特徴 — 松本への定住意向

- 参加者のうち、松本出身者は1名、県内出身者は参加者の半数を占める9名だった。松本に「住み続けたい」と明確な想いがある大学はわずかであった。
- 県内出身者は都会志向が強く、県外出身者は松本への愛着が低い傾向が見られる。

松本近郊での定住意向が高い

| | 出身地 | 松本定住意向 | 理由 |
|----|-----|---------------------------|--|
| 1 | 松本市 | 住み続けたい | ・ 不満なところがないから。趣味の関係で実家を離れたくないため。都会過ぎず、田舎過ぎず丁度良いため |
| 2 | 県内 | 絶対ではないが住んでいたい | ・ 実家(上田市)に近い場所に住みたいが、車があれば帰れるので松本に住んでいたい(実家にちかいほうがよいが車ができれば帰省できるのでこだわらない) ・ 仕事についてはまだ考えていないが、地域活性化に関わっていききたいので、地域内格差がある場所に住みたい |
| 3 | 京都府 | 住み続けたいが、他の場所に住んでみたい気持ちもある | ・ 特に大きな課題は感じていないから。一方で、視点を広げることや新たな出会いのために他の場所に住みたいとも考えている。現在4年生で、長野市で就職することが決まっている。やりたい仕事があれば松本市に住んでいようと思っていたが、探しても自分に合いそうなものがなかった。また、松本市には本社ではなく支店が多いため、転職の多そうな仕事が多いことは不満。 |
| 4 | 県内 | 地元で一生暮らしたい | ・ 実家が安曇野で実家暮らし。ストレス0だから(環境に恵まれている) |
| 5 | 県内 | 就職先で決めたい | ・ 長野県に住みたいので、松本も候補に入るかもしれないが、松本へのこだわりはない。住む場所は絶対長野県がいいと思っているので、仕事は住む場所優先で探していきたい |
| 6 | 埼玉県 | 住まない | ・ もう地元で就職が決まっているので、松本市に住む選択肢はない |
| 7 | 新潟県 | 住みたくない | ・ 実家に戻りたい。仕事は安定していて定時に帰れる仕事に就きたい。同じ条件の仕事があるなら、災害ができるだけ少ない場所に住みたい |
| 8 | 県内 | 住み続けたくない | ・ これといった理由はないが、他の場所にも住んでみたいから |
| 9 | 県内 | 住み続けたくない | ・ 特にない。松本はとても良い街だと思うが、都会などの生活も経験してみたい |
| 10 | 県内 | 住み続けたくない | ・ 都会などの生活も経験してみたいから。自分の成長のためにも若いうちに都会に出たいと思っているから。 |
| 11 | 県内 | 住み続けたくない | ・ 他の場所にも住んでみたいから。いいところだと思うが、将来的なことを考えると資格取得やスキルアップのために都会に行きたいと考えている。 |
| 12 | 千葉県 | 住み続けたくない | ・ 飽きたから。他地域に移動するとき、必ず山を越えないといけなくて大変だから |
| 13 | 愛知県 | 住み続ける予定はない | ・ 趣味に支障があるから。千葉県か、東京か、地元の愛知に住みたい。 ・ 舞台を観るのが好きだが、松本には来ないし、今は高速バスに乗って東京まで行っているが、そうじゃなくていつでも観られる場所に住みたい |
| 14 | 富山県 | 富山県に戻りたい | ・ 家族や親族がいるから。住みたくないわけではないが、実家に近い場所に住みたい。仕事は、富山県職員を目指している。 ・ 将来交通手段が発達して富山-松本のアクセスが良くなったとしても、物理的な距離が近いに越したことはない。 |
| 15 | 富山県 | わからない | ・ 何も考えていないから。仕事についてはまだ考えていない。松本に住みたくないわけではないが、いろんな場所に行ってみたくないので、わからない。 ・ 富山には24時間営業の店がないので、その点松本は魅力的。 |
| 16 | 愛知県 | わからない | ・ 分からないと答えたが、仕事があるなら松本に住みたい。就きたい仕事が決まっているので、住む地域は仕事優先で決める。 ・ 私は縁があるところに住みたい。信州は昔父が住んでいたので愛着を持っている。 |
| 17 | 愛知県 | わからない | ・ 公務員を目指しており、どこを受験するか決めていないから。住みやすい地域だけれど、興味は無い |
| 18 | 県内 | わからない | ・ 松本市はとても住みやすいけど、就職は市外だと思っているから。 ・ 南信の出身だが、南伊那に比べて、松本は”完成”されている感じがして、自分の地元みたいに「何とかしてあげたい！」と思えない。就職したら長野県のどこかに住みたいと思っているが、松本へのこだわりはない。 |

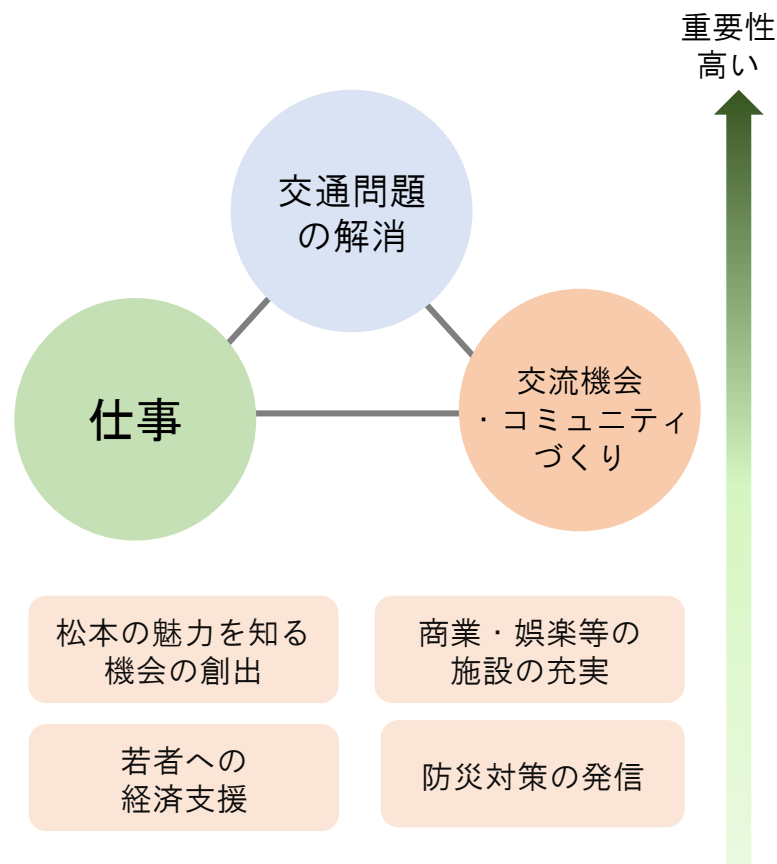
結果の要約

- 住む地域を選ぶ **必須条件** として9つの要素が出され、松本での暮らしにおける各分野に対する大学生の評価が明らかとなった。
- 松本を若者に選ばれるまちにするための大学生からの提案では、「交通問題の解消」「仕事」「交流機会・コミュニティづくり」が主要課題として提案された。

大学生が考える「住む地域の必須条件」と必須条件に関連して松本に抱えている良さ/課題の程度

| 松本の良さを認識している条件 | 松本に課題を感じている条件 | 良さも課題も実感がない条件 |
|----------------|----------------|---------------|
| | 交通の利便性 | |
| | 仕事の多様性・通勤のしやすさ | |
| 生活環境 | | |
| 商業施設が充実 | | |
| 趣味・娯楽が充実 | | |
| | 物価の安さ | |
| 人間関係・コミュニティ | | 子育てや福祉環境が良い |
| | | 実家との距離 |

松本を若者に選ばれるまちにするための提案



大学生が住む地域を選ぶ条件と松本の良さ・課題

- 卒業後に住む地域を選ぶ必須条件に関する意見を整理すると9つの要素が示された。
- 「①交通の利便性」「③生活環境」は、松本での暮らしの中で良さ・課題をそれぞれ感じている
- 「②仕事」は、松本の良さ・課題に関する意見が少なく、今後、大学生に向けた**アピールが必要**。

| 要素 | 卒業後に住む地域を選ぶ必須条件 | 松本のいいところ | 松本のもっとこうしてほしいこと（課題・改善が必要） |
|----------------|---|---|---|
| ①交通の利便性 | <ul style="list-style-type: none"> 公共交通が充実しており、利便性が高い 道が広い 駐輪場・駐車場が多い 他地域・他県へのアクセスが容易 | <ul style="list-style-type: none"> ●バスの利便性 <ul style="list-style-type: none"> バスロケーションシステムがある バスが多い ●自転車で移動しやすい <ul style="list-style-type: none"> 自転車での移動が楽 歩行者用道路が広い。レンタル自転車がある 自転車で移動できる範囲に生活圏がある 下り坂が多く、自転車での移動が楽 ●広域交通網がある <ul style="list-style-type: none"> 都会へのアクセスは比較的容易 空港がある | <ul style="list-style-type: none"> ●公共交通機関の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> バスが遅れないにほしい バスロケーションシステムをもっと認知させるとよい インターネットのバス時刻表を見やすくする 電車の本数をもっと多いとうれしい。そして安く 交通系電子マネーが使えるようにする 大学から駅までや郊外への移動のしやすさを向上させてほしい ●道路環境・渋滞 <ul style="list-style-type: none"> 道を広くしてほしい 一方通行など入り組んでいないように整備してほしい 市街地の渋滞を解消させるとよい 車での移動が楽になるとよい 自転車用道路が整備され、利用しやすいとよい 歩道の整備が必要 交通マナーをもっとよくしてほしい ●広域交通網 <ul style="list-style-type: none"> 他県・他地域への移動がもっと楽になるとよい |
| ②仕事の多様性・通勤しやすさ | <ul style="list-style-type: none"> 魅力的な会社がある 多様な仕事がある、就職できる会社が多い 職場に通勤しやすい 満員電車がいない | | <ul style="list-style-type: none"> 会社をもっと選択しやすくしてほしい 仕事が多く、選択できるようにしてほしい 賃金を高くしてほしい |
| ③生活環境 | <ul style="list-style-type: none"> 住みやすい気候 空気がきれい、自然が多い 気候が穏やか、暑くない 災害が少ない 治安が良い | <ul style="list-style-type: none"> ●自然環境がよい <ul style="list-style-type: none"> 自然が豊か、気軽に触れ合える 自然の景色がいい、自然が豊か、きれい 星がきれい。空気がきれい 自然と都市の融合 都市がこじんまりしている。コンパクトにまとまっている ●過ごしやすい気候 <ul style="list-style-type: none"> 天気がいい。冬の天気がいい 雪があまり降らない、夏が過ごしやすい ●災害が少ない ●食環境が良く、文化がある <ul style="list-style-type: none"> 食べ物、水道水が美味しい 地酒が多い ●街並みがきれい <ul style="list-style-type: none"> 文化財が多い 城周りの街並みがきれい | <ul style="list-style-type: none"> 災害時の情報収集が容易にできるようにしてほしい 断層があるため自身のリスクに対する不安を軽減してほしい 街灯を増やしてほしい |

大学生が住む地域を選ぶ条件と松本の良さ・課題

- 「商業施設」「趣味・娯楽」「人間関係・コミュニティ」は、松本での暮らしの中で良さ・課題を感じている。
- 「子育て・福祉環境」「物価」「実家との距離」については、大学生は松本の良さをあまり実感していない。

| 要素 | 卒業後に住む地域を選ぶ必須条件 | 松本のいいところ | 松本のもっとこうしてほしいこと（課題・改善が必要） |
|--------------|---|---|--|
| ④商業施設が充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・ まちが活性化している ・ 商業施設、コンビニが近くにある、お店が多い ・ 24時間営業のお店がある ・ スーパーが近くにある、歩いて行ける距離にお店がある、買い物に困らない | <ul style="list-style-type: none"> ● 買い物しやすい <ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーが充実している ・ 駅の近くが歩いて観光しやすい ・ コンビニが多い ・ 大型ショッピングモールがある ・ 映画の上映日に遅れがない ● 雰囲気の良い店がある <ul style="list-style-type: none"> ・ カフェが多い、おしゃれな店が多い ・ 雰囲気のいいカフェや居酒屋がある ・ 小さいものや新しいものを大事にする ・ 昔ながらの街並みがある | <ul style="list-style-type: none"> ・ 分煙・禁煙を徹底してほしい ・ 深夜に買い物できる店がほしい ・ 一人暮らし向けの食材が売られていてほしい |
| ⑤趣味・娯楽が充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化的施設（博物館・図書館）が充実している ・ 水質がいい（魚を飼うため） ・ 趣味を続けるのに適している ・ 自習室がある | <ul style="list-style-type: none"> ● 魅力的な観光地がある <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光地が多い、観光資源が豊か ・ 温泉がある ・ 松本城がある ・ 博物館が充実している ● イベントが多い <ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽系のイベントが多い ・ 地区単位で行われるイベントが多い ・ スポーツイベントが盛ん ● 趣味を楽しめる <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館が多い ・ 芸術が盛ん ・ 誘惑が少ない | <ul style="list-style-type: none"> ● 多様な魅力や企画を増やしてほしい <ul style="list-style-type: none"> ・ 松本城以外の観光名所があってほしい ・ 博物館に面白い企画があってほしい ・ 三つの「ガク」が浸透してほしい ・ 学術的なフォーラムを増やしてほしい ・ 音楽アーティストを増やしてほしい ● 娯楽施設を充実させてほしい <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊ぶ場所が欲しい ・ 大学の周りに遊ぶ場所があってほしい ・ シャッター街がないようにしてほしい ・ カラオケがたくさんあってほしい ・ ライブビューイングができるとよい ・ 開催されるイベントが把握しやすいとよい |
| ⑥子育てや福祉環境が良い | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園から大学まで揃っている ・ 教育施設が充実 ・ 子育てに適した環境、保育園が近い ・ 公園が近い ・ 介護・医療施設が充実している | | |
| ⑦物価が安い | <ul style="list-style-type: none"> ・ 家賃が低い。安く買い物をできる場所がある ・ ガソリンが安い | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 家賃を安くしてほしい ・ アルバイトの賃金を高くし環境をよくしてほしい |
| ⑧人間関係・コミュニティ | <ul style="list-style-type: none"> ・ まちにたくさん人が住んでいる ・ 人が多すぎない ・ 知り合いが多い、交流の機会がある | <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様なコミュニティがある ・ 地縁が強い ・ 個人店の人同士のつながりがある ・ 学生が住みやすい | <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティに入りやすいとよい |
| ⑨実家との距離 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 実家が近い、親の面倒が見やすい ・ 実家にアクセスしやすい | | |

2050～60年の日本や松本市の予測

様々な技術革新や社会変化が今後も数多く起きることが予想される中、2050～60年の日本や松本市の状況について聞いた結果を示す

- 30～40年後の日本や松本の社会・経済・技術・暮らしの変化について、意見を出し合った。
- 人口、産業・技術、移動手段、自然環境、医療に関する意見が多くあがった。

2050～60年の日本や松本市の予測

人口動向・社会動向

- 人口の局所化が進み、都市が過密化する
- 人口は減少する
- 外国人の増加
- 犯罪が極めて少なくなる
- 長野県が周辺県と統合される
- 少子化、高齢化の進行
- 定年が伸びる
- 税金が増える
- 定住という概念がなくなるなど

産業・技術

- 土地が余り、農地が減る
- クローン技術が発達
- 家事が自動化する
- ドローンによる宅配が普及する
- 人間のやる仕事が減り、店舗が無人化する
- 耐久消費財のシェアリングが進む
- AIが担う仕事の増加と人間がすべき仕事との差別化が進む
- キャッシュレス化が進む
- ショッピングモールがなくなるなど

移動手段

- 新幹線がさらに普及する
- 首都圏とのアクセスが楽になる
- 電気自動車が一般的になる
- 自動運転の実用化
- 過疎地との行き来が楽になる
- リニアモーターカーが主な移動手段になるなど

自然環境

- 温暖化が進む
- 気候が大幅に変動する
- 自然がもっと重視される
- 自然が減少する
- 南海トラフ地震・首都直下型地震が起きる
- 地震が起きたら今まで以上に被害が大きくなるなど

医療

- 人生100年時代
- 医療のさらなる発展
- AIの発達により医者がいらなくなる
- 老人ホームの増加
- 平均寿命と健康寿命の差が拡大する
- 安楽死ができるようになる
- 医療保険費用の上昇など

大学生からの提案～若者に選ばれるまちにするには

- 松本が若者に選ばれるまちにするための方策として、すべてのグループに共通していた分野は「交通問題の解消」であった。大学生は日々の生活の中で「交通問題」を課題と感じており、日々の暮らしや通学・通勤を想定し、改善を求める声が多かった。次いで「自分に合った仕事」が見つけれられるような環境づくりであった。

| 分野 | Aチーム | Bチーム | Cチーム | Dチーム |
|----------------|--|---|--|---|
| 交通問題の解消 | <ul style="list-style-type: none"> 都市部へのアクセス性の向上 他県・近郊へのアクセス性の向上 駐車場を増加させ、路上駐車を減らす | <ul style="list-style-type: none"> 夜行バスを増やす 空港を含む交通の利便性を高めて旅行に行きやすくする 道を広くする 大学生向けに自転車での移動環境を改善する | <ul style="list-style-type: none"> 学生がバスを使うようにする 学生のバス利用の文化を作る バス利用の無償化 渋滞を解消する 環境への配慮を行う 学生の生活圏を拡大させる 交通問題を解消する | <ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関を強化。状況をリアルタイムで把握できるシステムを作る。バスの遅延が課題 公共交通のみで生活できるようにする。公共交通機関の利用を増やすようなインセンティブを与える ICカードの利用域を拡大する 車での生活を快適に 歩道を広くする 交通での安全を確保する |
| 自分にあった仕事を見つける | <ul style="list-style-type: none"> 自分に合った仕事が見つけれられるようにする 松本に特化した就活情報サイト 松本に特化した物件情報サイト 色々なキャリアを積める職を増やす 資格試験を松本で受験可能とする 家族と共に住みやすいまちにする 松本の企業側から大学生へアプローチを増やす | | <ul style="list-style-type: none"> 学生の起業を支援 企業と学生のマッチング機会を増やす 企業がインターンシップを積極的に行う。学生が在学中に企業と関係が持てるようにする 大学が学生に積極的に企業紹介する 中小企業の知名度を上げる 仕事と家庭・育児とのバランスを保てるようにする | <ul style="list-style-type: none"> 多様な人・分野に関われる仕事を増やす 面白い仕事を増やす |
| 松本の魅力を知る機会をつくる | <ul style="list-style-type: none"> 観光に力を入れ大学4年間で松本を知り尽くすチャンスを増やす 訪問者に対して松本の魅力を案内できるようにする 「自分のまち」という感覚を持てるようにする 個々人に松本を発展させるという気持ちを抱かせる 松本市民としての自覚を持たせる 松本に誇りを持てるようにする | | | <ul style="list-style-type: none"> 松本市に関する情報の提供 小さいころから松本市について知ることができる機会を設ける 松本市を故郷と思えるようにする 松本を何とかしたいと思えるようにする |

大学生からの提案～若者に選ばれるまちにするには

- 「交流機会の増加、コミュニティづくり」「商業施設、趣味・娯楽を楽しむ場の充実」のほか、「経済支援」や「防災対策の発信」などの意見が見られた。

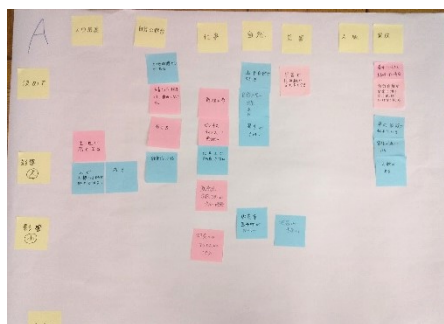
| 分野 | Aチーム | Bチーム | Dチーム |
|--------------------|---|---|---|
| 交流機会の増加、コミュニティづくり | <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントスペースを増やす、イベントに参加しやすくする ・ 松本が好きな人同士のコミュニティの増設 ・ 松本に愛着がある人が多くいることをアピールする ・ 個々人がまち全体を把握する ・ 半田舎・半都会であることをアピールする ・ 常に開かれていて、自分で楽しめる街 ・ 休日や休暇を松本を拠点に生活できるようにする ・ 松本での人のつながりを作る ・ 学生と、松本在住の同年代の人とのコミュニティを作る | | |
| 商業施設、趣味・娯楽を楽しむ場の充実 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広い世代が休日に楽しめる活動を増やす ・ レジャーなどの複合型娯楽施設をつくり、もう少し人が多く来るようにする ・ 店を増やす ・ ピザ屋よりも牛丼屋を増やす | <ul style="list-style-type: none"> ・ エンターテインメント情報の発信を活発にする ・ 新聞・テレビ・ラジオ以外の媒体でのイベントの広報を増やす ・ 娯楽施設を分散させる ・ 松本に飽きさせないようにする |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 若者への経済的支援を行う ・ 若者向けのアパートを確保する ・ 必要最低限の生活ができることをアピールする | <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災意識の高さをアピールする ・ 災害のリスクと対策内容を周知する ・ 防災活動を積極的に行う | |

※Cチームは「交通問題の解消」「自分にあった仕事を見つける」に意見が集約されていた



(2) 20~30代を対象とした意見収集

若者が住み続けたい街になるために



20～30代を対象とした意見収集の実施概要

背景と目的

- 松本市の年齢別の転出入状況（2010年→2015年）をみると、10代後半で転入が多く、20代前半で転出が多い状況である。
- 若年層の移住定住促進施策立案に向けた検討材料を収集するため、現在松本市に住んでいる20～30代の若者が住み続ける理由、松本に感じている魅力、課題、若者に選ばれるための方策について把握した。

実施方法

- 模造紙や付箋を使ったワークショップ形式
- 各テーブルにはファシリテーターを入れ、議論の整理等を行った。

参加者数

市内在住の20～30代の若者 16人

その他

- 参加者にはワークショップ開始前に、アンケートに回答してもらった。ここでは、松本市への定住意向、移住推奨度について把握した。結果は、顧客ロイヤルティを把握するために用いられるNPS®（ネットプロモータースコア）の考え方をを用いて把握し、集計を行った。意向に対して0～10の11段階で評価をしてもらい、回答に応じて「推奨者」「中立者」「批判者」に分類する。9・10を推奨者、7・8を中立者、0～6を批判者としてカウントする。回答者に占める「推奨者」の割合から「批判者」の割合を引くことで定住意向と移住推奨度が求められる。

実施概要

日時：令和2年1月19日（日）
13：30～16：30
実施場所：松本市役所大会議室

ワークショップの流れ

| | | 時間 |
|---------|---|---------|
| 1 | はじめに | 開会のあいさつ |
| | | 進め方の共有 |
| 2 | 自己紹介 松本に住み続けますか？ひとに勧めますか？ | 10分 |
| 3 | <ワーク1>住み続ける理由と離れるとしたら？ 松本に住み続ける理由はなんですか？ もし離れるとしたらどんな理由ですか？ | 35分 |
| 4 | <ワーク2>松本に住むことを親しいひとに勧めますか？ 松本に住むことを親しいひとに勧めるとしたら、どのように勧めますか？ | 35分 |
| 休憩（10分） | | |
| 5 | <ワーク3>未来からの提言 未来はどのようになっているのでしょうか？ 未来から今にアドバイスするとしたらどんなアドバイス？ | 45分 |
| 6 | <ワーク4>どうしたら松本は若者に選ばれる？ これまでのワークをふまえて、松本が若者に選ばれるために必要な取組などについて、ご意見をください！ | 30分 |
| 7 | 閉会のあいさつ | 5分 |

結果の要約

●参加者の特徴

- 参加者は、転勤や開業、就職希望先が松本だったなど、仕事の都合で転入してきた者が多かった。松本市での生活に対して、ポジティブな意見が多いものの、松本市に住み続けたいという強い意志があるわけではない状況であった。

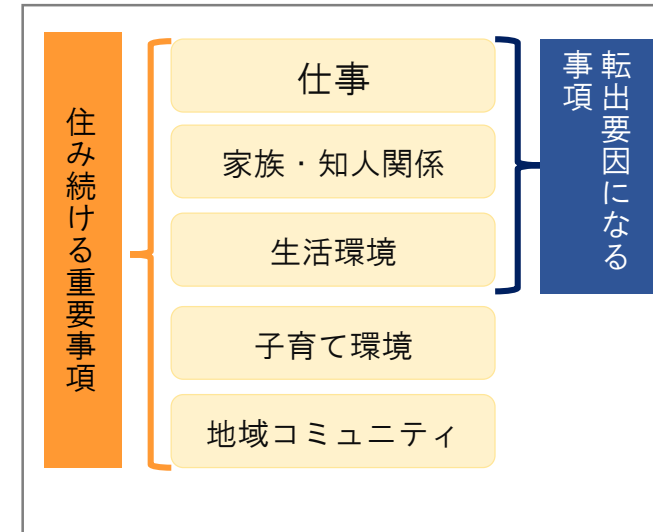
●定住に向けた重要事項

- 定住に向けた最重要事項は「仕事」「家族・知人関係」「生活環境」「子育て環境」「地域コミュニティ」の5つの要素に集約された。転出要因の最重要事項は「仕事」「家族・知人関係」「生活環境（災害）」が意見としてあがっていた。

●移住・定住に向けた取り組み

- 「仕事」は、働き方・仕事の多様性・柔軟性などの工夫として、企業とのマッチング支援、起業、副業のしやすい環境づくりなど、松本でやりたいことを実現できる環境づくりが重要といえる。
- 仕事その他、グローバル化に対応する「教育」や若年層同士や多世代の「コミュニティ」づくりに関する取り組みが重要との意見があった。
- 「家族・知人関係」に対しては直接的に政策として取り組むことは難しい。しかし、松本ならではのコミュニティづくり、次世代を見据えた教育など、個々の力を伸ばす環境づくり、つながりをつくることで、間接的であるが定住を促進できる可能性があると考えられる。
- また、若者は松本をよい街だと感じており、「内・外部に向けたPRが不足している」という意見も見られた。松本の現在の強みをしっかりと発信・共有していく機会の創出も求められる。

20～30代の定住に向けた重要事項



参加者の特徴 一住むことになったきっかけ、定住意向

住むことになったきっかけ

- 参加者の16名中半数（8名）が転勤や開業、就職希望先が松本市だったなど仕事の都合で松本市に住むことになっていた。次いで松本市の出身地が多かった（4名）。

| 住むことになったきっかけ | 人数 |
|--------------|----|
| 仕事の都合 | 8 |
| 地元だから | 4 |
| 結婚を機に | 2 |
| その他 | 2 |

松本市に住み続けたい意向

推奨者

- 転職や転勤に関わらず、松本市に住み続けたいかどうかを0～10の11段階で評価してもらい、その理由を記入してもらった。9・10をつけた「推奨者」は1名、7・8の「中立者」は12名、0～6の「批判者」は3名であった。（平均7.3 NPS値 -12.5%）

●推奨者の特徴

- 松本の山や自然、地域のつながりが好きで仕事にも満足している。

●大半を占めた中立者の特徴

- ポジティブなコメントが多く、松本市での生活に対する満足度は高いが、絶対に松本市に住み続けたいというわけではないということが読み取れる。一生住み続けたいと思ってもらうためには、生活の満足だけではなく、松本市でなければならないことが必要ではないかと考えられる。

●批判者の特徴

- 不満要素は、交通の便が共通してあがっている。また、住みやすさについては満足しているが、仕事の面などで満足できないことが、継続して住み続けたいという意向につながっていないことがわかる。

| 住み続けたい度 | 理由 |
|---------|--|
| 10 | ・山や自然が好き。地域のつながりが好き。健康的。安定職。 |
| 8 | ・他の地域と比べて空気が澄んでいる気がする。山がある。四季を感じられる。車を使わずに移動できるともっとよい |
| 8 | ・地元なので安心する。人が多い所はあまり好きではないから |
| 8 | ・土地柄がよい。いろいろな場所に住んだ結果、他と比べても恵まれたいい土地だと感じた |
| 8 | ・自然が多く都会と田舎の中間的部分を持ち合わせているため。元々住んでいたのが親しみがあるため |
| 8 | ・自然、街、人が良い。涼しい、風が気持ちいい、水がおいしい。 |
| 8 | ・店、人の距離感が程よく離れている。落ち着いた、冷静な、論理的な人が多い |
| 8 | ・自然が豊か、山がきれい、空気がおいしい。山雅のサポーターが魅力的 |
| 8 | ・好きで選んだ街だから。若者同士のコミュニティがあり、これから面白くなっていきそうだなと感じているから。自分のやってみたいことが実現しそうだから |
| 8 | ・交通の便もよく、雇用も安定しているため |
| 7 | ・友人たちがいる。場所の混雑が都会と比べて少なく、首都圏にもそんなに遠くなく行ける。景色が、山と緑が美しい |
| 7 | ・自然が多くアウトドアが楽しめる。公園も多く子育てはよい |
| 7 | ・概ね住みたい |
| 7 | ・お店が多く住みやすいため。いろいろ便利。景色がきれい |
| 6 | ・静かで住みやすいとは思いますが、交通の便などが不便であるため。若いうちはいろいろなどところに行ける場所がいい |
| 5 | ・環境、子育て、自然、文化はよい。 |
| 5 | ・交通の便、保育園の体制、企業が少ない、創業がよくない |
| 4 | ・交通の便 |

参加者の特徴 - 松本市に住むことを勧めたい意向

松本市に住むことを勧めたい意向

- 松本市に住むことを友人や知人に勧めたいかについて0～10の11段階で評価してもらい、その理由を書いてもらった。9・10をつけた「推奨者」は2名、7・8の「中立者」は6名、0～6の「批判者」は7名であった。（平均6.7 NPS値-40.0%）

●推奨者の推奨ポイント

- 過ごしやすさや環境の良さを理由としてあげている。

●中立者の推奨ポイント

- 「自然が好きなら」「子育てするなら」のように特定の状況に対して勧めたいという意向が見られた。

●批判者の推奨ポイント

- アクセスの悪さや交通の面、仕事の面で勧めることができないという意向があった。また、他の地域と比べて松本市を特別に勧めようという理由が見当たらないという意見があった。

| 勧めたい | | 理由 |
|------|----|--|
| 推奨者 | 10 | ・仕事、趣味、活動でその人がやりたいことがあるのであれば、環境がよいため |
| | 10 | ・自然が豊かで過ごしやすいため |
| 中立者 | 8 | ・住み続けたい理由と同じ |
| | 8 | ・これから子育てとかするのであれば環境としてはすごくいいと思う |
| | 8 | ・気候がよい。自然がきれい。食べ物がおいしいから。土地がある。子供を育てるのによい環境 |
| | 8 | ・住みやすいため |
| | 7 | ・東京など都心からのアクセスが良い。街歩きが楽しい街だから。ただ、寒いのと、交通の便（市街地への）がとてもよいわけではないので、自然が好きなら勧める |
| | 7 | ・食べ物がおいしく、景色がきれいなところなので、自然が好きな人にはすすめたい |
| 批判者 | 6 | ・平日は渋滞もあり、通勤時間がかかってしまうこと。就職先が他の市と比べると比較的少ないため |
| | 6 | ・もう少しアクセスが良ければ勧める（特にあずさ）。渋滞がすごく、移動に時間がかかる |
| | 5 | ・他県から来た方に話を聞くと、市民性かもしれないが、コミュニティが閉鎖的という話をきく。ただ、食べ物・空気がおいしい |
| | 5 | ・仕事、収入面で難あり |
| | 5 | ・アクセス |
| | 5 | ・他と比べたときに松本はどうか |
| | 3 | ・私の友人は若い世代の人が多く、地元の静岡の知人や友人が多いが、静岡と比べると松本に住む理由があまり見当たらない |

住み続ける要因と松本の状況

- ・住み続ける理由、離れる理由について付箋に書き出した上で「最重要：これが決め手」「影響を与える」「影響は低い」という3段階の影響度の分類を行った。
- ・また、親しい知人や友人などに、松本市に住むことを勧めるポイントと課題（こんなところが心配かもしれない）について共有した。これら結果を示す。

- 住み続ける理由の最重要事項は「**仕事**」「**家族・知人関係**」「**生活環境**」「**子育て環境**」「**地域コミュニティ**」の5つの要素に集約された。離れる理由として最重要事項は「**仕事**」「**家族**」「**生活環境（災害）**」が意見としてあがった。定住を左右するのは「仕事」「家族」の影響が非常に強い状況であった。
- 「仕事」に対する松本の評価として、体力がある企業、雇用条件がよい企業が少ないというネガティブな意見が見られた。「生活環境」「子育て環境」「地域コミュニティ」に関しては、松本の良さを一定程度、認識されている傾向にある。

| | 住み続ける理由 (最重要：これが決め手) | 離れる理由 (最重要：影響力が高い) | 松本市の良いところ | 松本市の課題 |
|----------|---|--|--|--|
| 仕事 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分のやりたい仕事が松本にある ・仕事がある ・勤務地の都合 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分のやりたいことが松本以外にできる ・転勤、転職 ・仕事が無くなった ・ビジネスチャンスに恵まれた ・勉強のため | <ul style="list-style-type: none"> ●起業環境 <ul style="list-style-type: none"> ・競争率が低く起業しやすい ●働き方 <ul style="list-style-type: none"> ・テレワークに向いている ・リモートの仕事なら不便はない | <ul style="list-style-type: none"> ・体力のある企業・いい条件の職場が少ない ・賃金は安い |
| 家族、友人関係 | <ul style="list-style-type: none"> ・妻のやりたい仕事が松本にある ・家族との同居（三世同居） ・妻の地元 ・友人、親戚などがある | <ul style="list-style-type: none"> ・県外の人と結婚 ・パートナーの状況によって ・県外の実家に帰らなければならないとき ・子育てがひと段落したら | | |
| 生活環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・山や自然が好き ・自然が豊かで山や景色がきれい ・アウトドア/山登り/スノーボードなど趣味が楽しめる ・水や空気がおいしい ・土地勘がある ・暮らしやすい | <ul style="list-style-type: none"> ・災害の多さ ・災害によって住むのが困難になったら | <ul style="list-style-type: none"> ●自然環境、気候がよい <ul style="list-style-type: none"> ・夏場は湿度が少ない、夏涼しい ・晴天が多く洗濯がしやすい ・自然豊かで住みやすい ・空気・水・景色・星空がきれい ●趣味が楽しめる <ul style="list-style-type: none"> ・ウィンタースポーツ・登山・松本山雅 ・温泉が近くにある、文化遺産が多い、歴史・文化・芸術がある ●食環境がよい <ul style="list-style-type: none"> ・野菜が安い、野菜や山菜がおいしい、食べ物がおいしい ●災害が少ない <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害が少ない、台風が来ない | <ul style="list-style-type: none"> ・家賃・物価・ガソリンが高い |
| 子育て環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育てに適した環境 | | <ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすい、病院がちゃんとある ・人々が子どもにやさしい | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを連れていける場所が少ない |
| 地域コミュニティ | <ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりがある ・自分のやりたい活動ができる | | <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティが強い、つながりがある（特に山間部） ・若者のコミュニティがある ・変な人が少ない | <ul style="list-style-type: none"> ・お節介・噂話が多い |

住み続ける要因と松本の状況

- ▶ 松本市に住み続ける理由（あると選びたくなる）として、「交通利便性」「住環境」「商業」はあがらなかったが、移住者にすすめたいポイントとしてはそれらの意見があがっていた。「交通の問題」は住む地域の選択においては影響力が下がると考えられる。
- ▶ また趣味や娯楽、歴史・文化についても、あがっていないかあがっていても影響は低い。20～30代の若者にとっては、住む地域を決めるうえで重要なポイントとは言えない。

前ページよりも影響力が低い要因

| | 住み続ける理由 (あると選びたくなる) | 離れる理由 (影響は中程度) | 松本市の良いところ | 松本市の課題 |
|------------|---|--|--|---|
| 交通利便性 | | <ul style="list-style-type: none"> • 雪道の移動 • 退職後の交通面における不安 • 移動における利便性 • 公共交通の不足 • 駅周辺の駐車場が高い | <ul style="list-style-type: none"> ●交通の利便性 <ul style="list-style-type: none"> • 電車が混まない • 都心へのアクセスがよい、県内や周辺のどこに行くにも遠くない • タウンズニーカーが便利、バスターミナルが便利/移動手段が多い | <ul style="list-style-type: none"> • 交通の利便性 • 東京へのアクセス • 渋滞が多い • 車がないと生活しづらい • 自転車専用の道路が少ない |
| 住環境・商業 | <ul style="list-style-type: none"> • 土地が安い • 騒音がない | <ul style="list-style-type: none"> • 土地が高くなったら • 物価が高い | <ul style="list-style-type: none"> ●住宅環境 <ul style="list-style-type: none"> • 土地や家が安く家が簡単に建てられる、家賃が安い ●買い物しやすい <ul style="list-style-type: none"> • 買い物に困らない • 店も多く欲しいものも揃う、駅前に必要な施設が揃っている • お酒やワインがおいしい、レストランが安くておいしい、飲食店・カフェ・バーが多い | <ul style="list-style-type: none"> ●物価が高い <ul style="list-style-type: none"> • 家賃・物価・ガソリンが高い |
| 文化・スポーツ・趣味 | <ul style="list-style-type: none"> • 趣味が楽しみやすい（登山、サイクリング、ゴルフなど） • 芸術が多い • 古さや昔のものを大切にしている、歴史がある • スポーツ観戦ができる • 温泉が多くある | | <ul style="list-style-type: none"> • 趣味に適している（ウィンタースポーツ、アウトドアスポーツ、登山） • 松本山雅の応援がしやすい • 歴史・文化・芸術がある • 温泉がある | |

2050～60年の日本や松本市の姿

- 30～40年後の日本や松本の社会・経済・技術・暮らしの変化について、意見を出し合ったところ、それぞれの参加者の立ち位置から多様な意見があがった。
- 人口動向に関することでは、国際化、少子化高齢化が進むこと、コミュニティの重要性が増すことがあがった。働き方に関することは、AI/IoT等の技術革新により「ヒト」がすべき仕事の範囲の変化や、在宅勤務などが普通になるなどの意見があがった。移動手段では、自動運転、高速自動化があがっていた。
- 長期的な視点をもったときに、生活にとって本当に重要なことでは、「教育」や「人間関係」「自然環境」などの意見があがった。

2050～60年の日本や松本市の姿

人口動向

- ・ 人口は減少する
- ・ 外国人労働者の増加（英語の習得が必須）
- ・ 国際結婚の増加
- ・ 老人ホームの増加
- ・ 少子化、高齢化の進行
- ・ 過疎化の進行
- ・ 定年退職の年齢が上がる
- ・ 高速交通網の発達で移住者が増えるなど
- ・ 核家族化の増加、1人暮らし高齢者が増えコミュニティの重要性が増す など

人間関係

産業・技術

- ・ 物質よりも情報に価値が生まれる
- ・ AIが担う仕事の増加と人間がすべき仕事との差別化が進む
- ・ AIを作れる人が生き残れるようになる
- ・ 人手不足により賃金が高くなる
- ・ リモート業務・在宅勤務が普通になる
- ・ 「通勤」がなくなる
- ・ 企業の数が減る
- ・ 働き方が変わり1人1人の仕事が減る
- ・ 長く使えるものを大切にする文化が広まる
- ・ 手作りの物・機械で作れない物の価値が上がる など

働き方の変化

移動手段

- ・ 首都圏とのアクセスが楽になる
- ・ 電気自動車が前提になる
- ・ 自動運転の実用化
- ・ ドローンによる宅配が普及する など

移動手段の
多様化

自然環境

- ・ 温暖化が進む
- ・ 自然の減少
- ・ 自然に戻る地域が増える
- ・ 地震の発生、災害の増加 など

自然環境
保全

健康医療

- ・ 人生100年時代
- ・ 医療のさらなる発展 など

生きがい

20～30代からの提案

～未来を見据え、若者から選ばれるまちにするために

これまでのワークをふまえて、松本市がどうしたら20～30代から選ばれるか議論・検討を行った結果を示す。

➤ すべてのテーブルから、若者から選ばれるまちにするためには、「仕事」「教育」「コミュニティ」に関する取組みについて提案があり、若者に魅力や良さを伝えることの重要性があがっていた。

■仕事

- 「起業のしやすさ」「若者が働きたい会社の誘致」などの意見から、若者たちは松本の既存企業について、若者が働きたい企業がないというイメージを持っていることがわかる。起業のしやすさや企業の誘致などに加えて、現在松本地域にある企業について若者にとって魅力的な点をPRしていくようなことが重要。

■教育

- 子どもの教育に加えて、本人たちが学ぶ環境を望んでいる。

■コミュニティ

- 集まることができる場所、交流や意見交換ができるような場所を望んでいる。

■PR

- 若者から見ても、松本市の環境は暮らすのによい環境であると認識している。
- それらが知られていないことに課題意識を持っている。

| | Aチーム | Bチーム | Cチーム | Dチーム |
|--------|--|--|---|---|
| 仕事 | <ul style="list-style-type: none"> 起業しやすい環境をつくること 新しいビジネスをする人への補助 若者に支持される企業が進出する | <ul style="list-style-type: none"> 副業・兼業・起業が日本一盛んなまちにする 在宅の仕事、フリーな仕事がある 育児中でも仕事が可能なお状態にする 若者が就ける仕事を増やす 仕事を選択しやすいようにする | <ul style="list-style-type: none"> 企業誘致をすすめる 起業しやすい環境・制度を整備する ローカルイノベーターを養成する | <ul style="list-style-type: none"> 雇用不安をなくし、好条件の仕事を増やす 金銭的援助を行う |
| 教育 | <ul style="list-style-type: none"> 英語など他国に対応した教育の向上 教育機関との連携 ビジネスを学べる環境整備 | <ul style="list-style-type: none"> 良い教育を行う グローバル&テクノロジー教育を日本一にする 外国語教育を充実させる 学んだ英語を話せる機会をつくる | <ul style="list-style-type: none"> 大学数や種類を増やす | <ul style="list-style-type: none"> 大学、市、法人の常設的なつながりを作る 学びの場など、学生が卒業後も松本に住むとメリットがあるようにする |
| コミュニティ | <ul style="list-style-type: none"> コミュニティの場を増やす | <ul style="list-style-type: none"> 若者が好む娯楽やイベントを増やす クラブや音楽を楽しめるおしゃれな場所を増やす まじめなワークショップ 人にばれずに遊べる場所がほしい | <ul style="list-style-type: none"> 大学生が活躍できる場を作り、そのまま松本に残るようにする 若者と大人・高齢者が意見交換できる場を用意する 若者が発信・挑戦できる環境を作る 若者を応援できる環境づくりを行うヨソモノ・ワカモノ・バカモノが交わる仕組みを作る 余剰な土地や空き家を活用し若者を呼び込む 市街地以外を活用し人が集まれる場所を作る | |
| PR | <ul style="list-style-type: none"> 長く住み続けられる地域であることをPR 子育てをしやすい環境であることをPR 夏の涼しさをアピール 安全な環境であることをアピール 自然の豊かさ・住みやすさをアピール 情報を発信すること | <ul style="list-style-type: none"> 県外へのスキー、登山、ゴルフ場のPR認知してもらうために提携都市を増やす そもそも松本がどこにあるのか知らせる松本にしかない魅力をより充実させる | <ul style="list-style-type: none"> 松本の良さ・魅力を様々な方法で発信する 外に向けたイベントを増やす 自然を生かした教育環境をアピールする PRにおける松本以外との連携 | <ul style="list-style-type: none"> 情報を知らないという状況を解消する |

20～30代からの提案～若者から選ばれるまちにするために

➤ 「交通課題の解消」「子育て環境の充実」について、2～3テーブルより提案があった。

| | Aチーム | Bチーム | Cチーム | Dチーム |
|-----|--|--|--|---|
| 交通 | | <ul style="list-style-type: none"> • 全国への交通アクセスの強化 • 松本駅前・国道の渋滞緩和 • 交通系ICカードに対応できるようにする | <ul style="list-style-type: none"> • 交通インフラを可能な限り改善する • 路面バスや早朝線・深夜線の充実 • 交通費を安くする • 空港の充実 • 新幹線の開通 • 街中の公共交通網・道路の整備 | <ul style="list-style-type: none"> • リニアや新幹線を開通させるなど交通機関を整備する • 渋滞のないスムーズな交通状況を作る • 電車のない地域や夜間における交通網の整備 |
| 子育て | | | <ul style="list-style-type: none"> • 子育て支援を充実させる • 子どもの教育に適した環境を作る • 補助金や支援の充実 • 分かりやすく伝わりやすい制度を作る | <ul style="list-style-type: none"> • 子育てに安心な機関の発展 • 育児費用支給・託児所の整備などの子育て支援 • 子どもと一緒に過ごせる場所を作る |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> • ドローンや自動運転などの最新技術の導入 • 自然への価値が高くなること | | | <ul style="list-style-type: none"> • おしゃれな街にする • レジャー施設を増加させる |



(2) 一般市民を対象とした意見収集

未来との対話から導く松本市のこれから

～幸せな2060年のために、いますべきことを考える～



一般市民を対象とした意見収集の実施概要

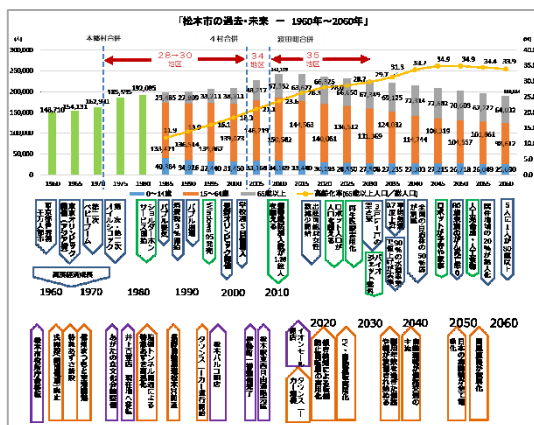
目的

- 2030年までを期間とする総合計画の策定に向けて、一般市民の視点やアイデアを得るとともに、松本市において「次の10年に注力すべきこと（まちづくりのテーマ）」を導出することを目的に実施した。

実施方法

- 模造紙や付箋を使った1テーブル3～5人でのワークショップ形式。
- 各テーブルにはファシリテーターを配置し、議論の整理等を行った。

- 未来の視点を取り入れることで、将来に向けて、いま私たちが何をすべきかを「広い視点と長い時間軸」で考えるため、フューチャーデザインの手法を取り入れて実施した。



参加者数

年齢を問わず、幅広い世代の市民を対象とした。実施場所は松本市役所大会議室である。

- ◆1回目 令和2年1月19日（日）
市内在住者 23人
- ◆2回目 令和2年1月25日（土）
市内在住者 10人

ワークショップの流れ

自己紹介

ワーク1
松本の「良いところ」「課題・改善点」

ワーク2
次の10年で注力すべきことは？

ワーク3
年表ワーク(過去・未来)

ワーク4
未来ワーク(2060年の松本市の姿)

ワーク5
これまでのワークを踏まえ
次の10年で注力すべきことは？

全体共有

結果の要約

●松本の良さと課題

- 松本の良さとしては、自然が豊かなど「自然環境」に関することや「観光地として魅力的な場所であること」が多くあがっていた。一方、課題としては交通・道路整備に関することが多くなっていた。

●2060年頃の未来予測

- 技術革新により、AIやICTなどの導入が進み働き方や求められる能力が変化するとともに、医療技術の進化、自動運転の普及により、生活スタイルが大きく変わるのではないかという意見があった。
- 様々な変化が起こる中、美しい自然や歴史的な資源、人とのつながりやコミュニティは変わらず、それらの価値が見直されるのではないかという意見があった。

●未来を見据え、チャレンジすべきこと

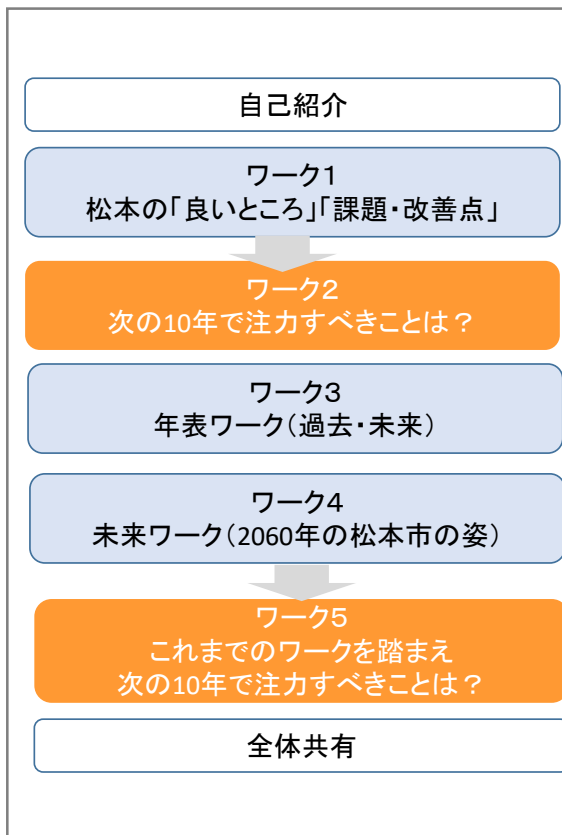
- 松本の重要課題である「交通分野」は、車に頼らない暮らしに向けた取組みを進めるとともに、新たな技術を取り入れ、解消していくことが有効ではないかという意見が見られた。
- 今後、価値の重要性が増す可能性がある、人とのつながりなど「コミュニティ」や、「自然環境」「歴史的資産」は維持していくことが必要との意見があった。
- 地域でのコミュニティは維持されているところもあれば希薄化しているところもある。地縁コミュニティ、同世代、多世代など、それぞれのコミュニティのあり方を考える時にきている。また、自然環境や歴史遺産など先人が積み上げてきた強みは、引き続き、松本市の競争力の源泉として磨き上げていく必要があるといえる。

結果の見方

以下の流れでワークショップを行い、各分野について「松本の良さ・強み」「課題・改善点」「2060年頃の松本の未来予測」を踏まえ、参加者に「未来を見据え、チャレンジすべきこと」をあげてもらった。これら意見を右記の分野で以下のとおり整理した。

- 健康・医療・福祉
- 教育・文化
- 環境（自然・生活環境）
- 産業①（農業・工業・雇用・働き方）
- 産業②（商業・中心市街地）
- 産業③（観光）
- 地域づくり①（コミュニティ・地域防災・防犯）
- 地域づくり②（移住・定住、人権・共生）
- 社会基盤（交通・道路整備・都市基盤）

ワークショップの流れ



ワークショップの結果の見方

①松本の良さ・強み、課題・改善点

ワーク1：
松本の「良いところ」
「課題・改善点」の結果を整理。

各分野の伸ばすべき良さ・強み、克服すべき課題をまとめている。

健康・医療・福祉

- 医療技術の進化
 - ・人生100年時代の到来
 - ・松本の気候を活かした、松本独自の治療・延命方法が確立されている
 - ・在宅ケア体制が充実し、察に来てくれる
 - ・医療技術が進む
 - ・遠隔医療の普及
- 高齢者の増加
 - ・高齢者の活躍・居場所の増加
 - ・介護ロボットの普及

- 子育てと仕事の両立をする人が増加
 - ・男性による育児や育児休暇を取ること
 - ・両親の共働きが当然になる
- 音の出現
 - ・音に敏感な人がいる

②2060年頃の松本の未来予測

2060年頃の松本の未来予測

松本の良さ・強み

- 医療
 - ・医療が充実している
 - ・病院が多い
 - ・第三次救急医療がある
- 健康
 - ・健康づくりの取組みがアピールできている
- 子育てがしやすい

未来を見据え、チャレンジすべきこと

- 経済的負担の軽減
 - ・子育て世代の経済的負担軽減
 - ・Allの定着化を促進し、労働時間を減らし、育児等に関わる時間を増やす
- 母親の負担軽減、仕事を両立できる環境づくり

①松本の良さ・強み、課題・改善点

を開催しやすい

松本の課題・改善点

- 健康づくりの取組みが必要
- 健康寿命を長くする取組が不十分
- 待機児童の解消が必要
- 待機児童問題
- 子どもの遊び場の確保
- 子どもが外で遊んでいない

②2060年頃の松本の未来予測

ワーク3「年表ワーク」
ワーク4「未来ワーク」の結果をもとに作成した。

当該分野のこれから起こりうる社会変化をまとめている。

③未来を見据え、チャレンジすべきこと

ワーク5「これまでのワークを踏まえ、次の10年で注力すべきことは？」を整理した。

参加者がこれからの未来を見据え、最もチャレンジすべきと考えていることをまとめている。

結果 - 松本の良さ・強み・課題、チャレンジすべきこと

健康・医療・福祉

●医療技術の進化

- ・人生100年時代の到来（150年、200年という声もあった）
- ・松本の気候を活かした、松本独自の治療・延命方法が確立されている
- ・在宅ケア体制が充実して、医師が家まで診察に来てくれる
- ・医療技術が進む
- ・遠隔医療の普及

●高齢者の増加

- ・高齢者の活躍の場や居場所が充実
- ・介護ロボットの普及

●子育てと仕事を両立する人が増加

- ・男性による育児や育児休暇が普通になる
- ・両親の共働きが普通になる
- ・家事の自動化・機械化

●格差の拡大、新たな社会的弱者層の出現

- ・貧富の差の拡大
- ・孤独な人が増える
- ・インターネットを使えない人が社会的弱者となる

2060年頃の松本の未来予測

教育・文化

●教育環境等の変化

- ・学歴重視と個性重視の両極化が進んでいる
- ・学校におけるPCの普及
- ・翻訳機の普及により外国語を勉強しなくても、外国人との交流が容易になる
- ・先進技術よりAI等による授業が開講
- ・授業がバーチャル化し、登校が不要になる
- ・学区制が廃止される

●学部の変化

- ・環境系大学・学部が増加する
- ・大学と医学部の関係が強化される

●文化財価値の上昇

- ・伝統や文化を大切にしている風潮が高まる

●文化、スポーツの楽しみ方が変化

- ・コンサートホールは無くならずに残る
- ・古い伝統が見直される
- ・eスポーツが普及する一方で、リアルなスポーツも残る
- ・多くのスキー場が雪不足で閉鎖している
- 既存のスポーツは健在
 - ・松本山雅FCの応援は依然として盛ん

2060年頃の松本の未来予測

松本の良さ・強み

●医療が充実している

- ・医療が充実している
- ・病院が多い
- ・第三次救急医療がある

●健康づくりの取組みがある

- ・健康づくりの取組みがアピールできている

●子育てがしやすい

- ・子育て環境がよい
- ・保育園の預かり時間が長い
- ・夜間医療が受診できる
- ・公民館が利用しやすく、子ども向け行事を開催しやすい

未来を見据え、チャレンジすべきこと

CHALLENGE

●経済的負担の軽減

- ・子育て世代の経済的負担軽減の取組みの拡充
- ・AIの導入を推進し、労働時間を減らし、育児等に関わる時間を増やす

●母親の負担軽減、仕事を両立できる環境づくり

- ・企業等の子育てへの理解を促進し、女性が働き続けられる環境を整備
- ・家事代行サービスの充実
- ・夕方過ごす場所を増やすこと

●介護支援の充実

- ・介護家族等への支援

松本の課題・改善点

●健康づくりの取組みが必要

- ・健康寿命を長くする取組が不十分

●待機児童の解消が必要

- ・待機児童問題

●子どもの遊び場の確保

- ・遊び場が少なく、外で遊んで子どもが少ない

松本の良さ・強み

●教育環境が充実

- ・小学校から大学までが市内で完結できる
- ・中高一貫校が増加し多様化している
- ・しっかりした学舎がある

●魅力的な文化・歴史資源がある

- ・イベントが多い
- ・観光地としての魅力が高い
- ・有名人の講演会が多い
- ・歴史と文化が調和している
- ・街が綺麗、昔ながらの街並みがよい
- ・松本城等の文化遺産が豊富
- ・文化重視の風土がある
- ・学都・岳都・楽都

●スポーツ観戦が根付きつつある

- ・地域を代表するスポーツチーム（山雅）があり、地域を盛り上げている

未来を見据え、チャレンジすべきこと

CHALLENGE

●子どもの個性を生かした教育の実施

- ・現在バラバラに活動している教育関係者を結び付け、自分の子どもに合った教育を選択できるような仕組みをつくる
- ・学校とは別の立場で、子どもに対して個別に対応するコンシェルジュ的な役割をつくる

●学校と家庭、地域との連携強化

- ・学校、教員に教育を任せきりにするという親の認識を変える

●主体的に考える力を養う教育の実施

- ・子供から大人まで人の生き方・あり方をしっかり考えられるように

●異次元、異文化に対応できる教育

- ・AIなど新たな技術を活用できる力の育成
- ・外国人住民の異なる文化などを理解する力の育成

●松本の良さを知る機会を増やす

- ・小さな頃から松本への関心・良さを知る
- ・信州やまほいくの取組みの強化

松本の課題・改善点

●進学先の選択肢が少ない

- ・小学校、高校、高等教育の選択肢が少ない
- ・私立校が少ない
- ・偏差値やネームバリュー重視の風潮

●市民のイベントへの参加率が低い

- ・アート系イベントへの地元住民の参加率が低い

●生涯学習の機会が少ない

- ・自分の望む分野を学べる機会が少ない

環境（自然・生活環境）

- **自然は変わらず美しく、価値が上昇**
 - ・松本に昔ながらの懐かしい風習や風景が残っている
 - ・自然や景観は変わらず美しい
 - ・自然環境は今のまま残っている
 - ・山・森林の整備が進む
 - ・40年以上前の風習や風景が残っている（手紙のやり取り、田植え）
 - ・海・山などの土地固有の資源の高価値化
- **自然と暮らす意向が増える**
 - ・環境意識の向上
 - ・IT化が進み働き方が多様化することで、住みやすい環境に住む人が増え、郊外地域での人口が増加
 - ・住居が学校の近くから山奥になる
- **エネルギーの変化**
 - ・脱炭素社会が実現
 - ・自然エネルギー最大化、CO2の排出ゼロ
 - ・エネルギーと食料を自給できるようになり雇用が増える
 - ・電気以外の新たなエネルギーの登場
- **環境変化の影響が大きくなる**
 - ・猛暑、暖冬、大雨等の異常気象により、自然環境が変化。森林や里山の荒廃。水不足
 - ・温暖化の進行で雪が降らなくなり冬も暖かい

2060年頃の松本の未来予測

産業①（農業・工業・雇用・働き方）

- **気候変動の影響**
 - ・気候変化の影響を受け産地が変わっている
- **技術革新が進む**
 - ・農業のIT化・オートメーション化による食料自給率の増加
 - ・ロボット・AIの活用が進む。使いこなす能力が求められる。
 - ・セキュリティの強化が進む
- **ハードからソフトへ。手工業の価値が上昇**
 - ・人間による直接的なサービスに希少価値が生まれる
 - ・「モノ」がなくなり、ハードからソフトメイになる。ペーパーレス化が進む
- **物流が変わる**
 - ・ドローンによる物流
- **本社機能の地方移転が進む**
 - ・長野に雇用が増え、経済が潤う
- **働き方が変わる**
 - ・複数の分野の仕事をするようになる
 - ・テレワーク等の普及により在宅勤務が基本となることで通勤回数が減り、オフィスが消失
 - ・ベーシックインカムの浸透し労働が趣味化
 - ・AIによる仕事が増加し週休3日制になっている
 - ・若者の生きがいが不明確になる
 - ・個々の自由な活動が増加
- **外国人労働者の増加**
 - ・様々な分野での外国人労働者の増加

2060年頃の松本の未来予測

松本の良さ・強み

- **自然が豊か**
 - ・自然が豊かで住みやすい
 - ・風景がきれいで、様々な美しい景色
 - ・のんびりとしている
 - ・景色・空気・水がきれい
 - ・空の広がり、星空が綺麗
 - ・気候がよい、涼しい、寒さが厳しすぎない
 - ・水がおいしい
- **自然と都市とのバランスがよい**
 - ・都市と田舎のバランスが良い、都市部にいながら田舎を感じられる
 - ・大都市圏との適度な距離感
 - ・本当の田舎がある

松本の課題・改善点

- **市民の環境に対する意識が低い**
 - ・市民が環境を守る意識が低い
 - ・街中で喫煙している人がいる
- **環境指標の改善が必要**
 - ・CO2の排出が多い
 - ・エネルギーの自給ができていない
 - ・食料自給率が低い
- **水質の維持が必要**
 - ・郊外の過疎化が進んでいる
 - ・市町村合併により水の質が落ちた

未来を見据え、チャレンジすべきこと

CHALLENGE

- **市民の環境保全意識の向上**
 - ・環境変化・原因の共有
 - ・自身のことだけではなく「全体」を見る意識づくり
- **環境に配慮した暮らしの促進**
 - ・便利すぎる生活を縮小する
 - ・物の使い捨てなどごみを減らす
 - ・地産地消にこだわる
- **自然エネルギーの利活用**
 - ・自然エネルギー条例の制定
 - ・地域主体での自然エネルギー事業の立ち上げ支援
- **自然環境保全につながる産業の創出**
 - ・農業・林業等の活性化
 - ・自然環境を利用した新たな産業の創出
- **街のコンパクト化と自然環境の再生**
 - ・コンパクトシティを目指し、非居住地域を自然に戻す。動植物との共存・共栄を目指す

松本の良さ・強み

- **農業が強く、美味しい野菜が収穫できる**
 - ・農業が強く、農作物が豊富
 - ・野菜・果物が新鮮で美味しい
- **経済圏ができていく**
 - ・他地域に依存しない、内部で完結した経済圏ができていく

松本の課題・改善点

- **食料自給率が低い**
 - ・食料自給率が低い
 - ・冬場の野菜が少ない
- **工業が弱い**
 - ・製造業が弱い
 - ・大企業が少ない
 - ・他市と比べて工業分野が弱い
 - ・経済発展が目に見える形で確認できない
- **若者が働きたい仕事が少ない**
 - ・就職先の少なさによる若者の流出
- **経済発展しているかわからない**
 - ・経済発展が目に見える形で確認できない

未来を見据え、チャレンジすべきこと

CHALLENGE

- **食糧自給率を高め、食品問題やエネルギー問題に対応する取組**
 - ・再生エネルギーの活用
 - ・農業・酪農強化
- **地産地消の強化**
 - ・地元産を増やし、地産地消を進める
 - ・松本ブランドを強化する
- **雇用創出に向けた取組**
 - ・東京などの本社機能の分散の受け皿になる計画を立てる
 - ・外国人材の受け入れ
 - ・働く年齢人口の増加に向けた海外企業の誘致
 - ・若い世代（特に大学生）に企業を紹介し、卒業後に松本に残ってくれる取組の強化
- **住みながら域外も含め働ける環境づくり**
 - ・テレワーク等の普及により場所を問わず働ける状況となる事を踏まえ、市内で働くことよりも住んでもらうことを重視
- **様々な働き手を受け入れる寛容さの醸成**
 - ・多様性を認めるまちに変え、殿様商売ではない、外から入る人を優しく受容するという覚悟を決める
 - ・異文化を学ぶ機会を増やす

産業②（商業・中心市街地）

●販売・消費の変化

- ・コンビニ・スーパーから店員がいなくなり店舗が無人化している
- ・ネット通販の増加
- ・大型ショッピングセンターがなくなる
- ・自宅での映画鑑賞が進み映画館がなくなる
- ・ドローンでの商品配送が一般化している
- ・電子マネーが普及する

●中心市街地の人口減少

- ・中心市街地は今より人が少なくなる
- ・中心地・商店街の衰退・簡素化

●駅前再開発が進む

- ・駅前が広い空間になり観光客・学生の交流が

盛んに

●キャッシュレスの時代になる

- ・キャッシュレス化による硬貨の減少
- ・電子マネーが普及し、財布を持つ習慣がなくなっている

●商品のシニアシフト

- ・まちが高齢者よりになり、若者が隅に追いやられる（お店がシニア向けになる）
- ・スーパーの陳列商品が漬物ばかりになる

●変わらないこと

- ・個性的な店は2020年のまま残っている
- ・消費者の金銭感覚は変わらない

2060年頃の松本の未来予測

松本の良さ・強み

- 中心市街地でイベントが多い
 - ・お祭り、イベントが多い
- 商業施設が多数あり、利便性が高い
 - ・内部で完結した経済圏ができています
 - ・スーパーが多い
 - ・美味しい飲食店が多い

松本の課題・改善点

- 中心市街地の賑わい、活気がない
 - ・駅前の空洞化、雑然さ・寂しさ
 - ・松本駅の再開発への不安
 - ・夜が閑散としている。人がいない
 - ・商店街の衰退
- 土地単価・物価が高い
 - ・学生が通える安価な飲食店が少ない
 - ・物価が高い
- 松本城周辺の店舗が物足りない
 - ・バラエティ豊かな店が少ない
 - ・小さくても個性的な店が少ない
 - ・賑わいが少ない
- 商業エリアの分散
 - ・商業エリアを分散すべき
 - ・賑わいが地域によって偏りがある
 - ・人が多すぎるときがある

未来を見据え、チャレンジすべきこと

CHALLENGE

●松本の魅力を活かした人中心の未来型都市への取組み

- ・駅前・中心地の賑わい、魅力創出
- ・人が集まる場所をつくる
- ・交流機会を増やす

●中町や松本城、駅前周辺への車の乗入れを規制し、歩行者天国にする

- ・歩いて楽しめるまちづくり
- ・混雑解消に向け、マナーやルールの共有
- ・自転車移動しやすい環境整備
- ・人が集まる場所をつくる

●地産地消の強化

- ・地元産を増やし、市民の地産地消を進める
- ・製品のPR
- ・松本ブランドを強化する

産業③（観光）

●歴史的価値の上昇

- ・松本城の価値が上昇
- ・観光資源の強みは変わらない
- ・バーチャルで体験出来るが増える中、本物を体験することへの価値が増す
- ・観光産業への注力が増す

●グローバル化が進む

- ・外国人旅行者が増える。トラブルも増加。

●気候変化

- ・気候の変化によりスキー場が無くなる、上高地が通年利用可能になる

●移動手段の影響を受けた観光のスタイル変化

- ・大都市圏との高速交通網発達により宿泊者減少
- ・月旅行など宇宙への関心が高まる
- ・中心市街地は今より人が少なくなる
- ・移動すること、観光に希少価値が生まれる
- ・全てバーチャルで体験出来るため博物館などが施設に行かなくてもよくなる

●観光コンテンツの変化

- ・近代的な大規模温泉がつけられる

2060年頃の松本の未来予測

松本の良さ・強み

●観光資源が豊富で観光客が訪れている

- ・国宝の松本城がある
- ・外国人旅行者が増えた
- ・観光資源が多様である
- ・車で行ける範囲に温泉が多くある
- ・祭り・フェス等イベントが多い
- ・町並みが良い

●観光しやすい整備が進んでいる

- ・街中観光しやすい環境が整っている
- ・街中のマップが充実している
- ・郊外の田舎が近場の観光地として適している

松本の課題・改善点

●プロモーションが不十分

- ・観光のPRができていない

●夜の魅力がない、活気がない、魅力が弱い

- ・夜遊ぶところが少ない、閑散としている
- ・観光地の衰退・廃業
- ・周囲の観光地への中継地点になっている
- ・人が多すぎる

●おもてなしが足りない

- ・キャパシティやおもてなしが足りない
- ・観光に地域の良さが活かしきれていない
- ・観光面でおもてなしの姿勢が不足している
- ・松本城の堀の水が汚い

未来を見据え、チャレンジすべきこと

CHALLENGE

●観光誘客の強化

- ・SNS等を活用し、文化・自然をPR
- ・松本に宿泊するメリットを伝える
- ・利用者目線に立ち、積極的に松本に来たくなるようなサービスを提供する意識を持つ

●本物を体験できる観光コンテンツの強化

- ・山・川・城等の資源を活かした、観光に特化したスポットづくり
- ・松本にしかない演出・体験をつくる（松本の景色は維持しながら）
- ・多方面で商業的な相乗効果が得られるような、多分野を連携させた仕組みづくりに取り組む
- ・山岳観光より前面に打ち出す

●関係人口の創出

- ・様々な人が集まる松本にする
- ・観光地として何度も松本に来てくれる場所にする（リピーターをつくる）
- ・また来たいと思う感動、松本を好きになってもらう工夫を考え、実践する

●受入環境の整備

- ・観光客にやさしい街づくりを進める

地域づくり①（コミュニティ・地域防災・防犯）

●コミュニティが重視される

- どこに住んでも仕事ができ、生活におけるバーチャル化が進む中、人に直接会う事、つながりなど“リアル”に今より重視される
- コミュニティの連帯感が今より重視される
- 財政難により市町村合併が進み地域の範囲が変わる

●グローバル化が進む

- 町会が多国籍化する

●技術革新が進む

- 生活におけるバーチャル化、AI化の進展
- 遠隔コミュニケーションの高度化

- 技術革新による災害の抑制

●災害発生の可能性が高まる

- 地震、水害など災害が発生

●空き家が増え、活用が進む

- 空き家が増加する
- 空き家が若者や家が別荘などの第二の生活拠点としての活用されている

●人口減少がした地域の治安悪化

- 郊外が空洞化する
- 廃村、スラム街の発生

●新たな犯罪への対応

- 技術の悪用に対する取り締まりの法の整備

2060年頃の松本の未来予測

松本の良さ・強み

●コミュニティが温かく、地域活動が盛ん

- 人が温かい、優しい
- コミュニティに一体感がある
- サッカーやマラソンへの応援が盛んであり一体感がある
- 子供たちが通学時に頻繁に挨拶
- 地域活動が盛ん
- 町会が機能している地区もある

●災害が少ない

- 自然災害が少ない
- 市街地と田園地域の区分けが明確

未来を見据え、チャレンジすべきこと

CHALLENGE

●地域コミュニティの強化

- 地域のコミュニケーション機能を高める
- 地域住民の町会への加入を促進
- 町会役員の仕事を軽減し、若者等の新参者に対しても積極的に町会への入会を促す
- コミュニティの改善に向けた対話の機会をつくる

●空き家や無人の建物の対策

- 人が住まない空き家の撤去
- 空き家の清掃を容易にできる仕組みづくり
- 無人建物の撤去
- 将来的に価値の上がる空き家を、より活用しやすくする仕組み

●防災・減災に向けた備え

- 松本地震の危機意識の向上
- コミュニティの活性化
- リスクに対する情報発信

松本の課題・改善点

●町会が機能が弱まっている

- 町内会の集まりや近隣との交流が減少
- 町会への行政の介入が少ない
- 役所が町会役員に依存しすぎ
- 町会でトラブルが起きててもケアされない
- 地域と関わるメリットが感じられない

●雪道や街灯の対応

- 夜道が暗い
- 冬期への諸対策が不十分

●防災意識、対策が不十分

- 大規模地震に対する準備が足りない
- 災害対策や危機意識が足りない
- 有事の避難場所が分からない
- 防災無線が聞こえづらい

地域づくり②（移住・定住、人権・共生）

●住環境変化

- 新興住宅が増え若者が集まる
- 持ち家の減少

●ライフスタイルの変化・多様化

- 自らの興味のある場所に人が集まる
- 住民それぞれの価値観・ライフスタイルが多様化、変化
- どこに住んでも仕事ができ、生活におけるバーチャル化が進む

●郊外の変化

- 郊外の人口格差が広がる（減少する地域もあれば増えている地域もある）

- 自然環境が豊かな場所への移住が進む

●グローバル化が進む

- 外国人移住者の増加
- 町会にも外国人が増え、翻訳アプリで交流している
- 多様な国籍の人が増える

●技術革新が進む

- AIの普及

●新たな弱者が生まれる

- 新たな社会的弱者が出現している（インターネットを利用できない人など）

2060年頃の松本の未来予測

松本の良さ・強み

●住みやすく、人が温かい

- 住みやすい
- 市街地がコンパクトで便利
- 人が温かい、優しい
- 地域の交流イベントが豊富
- サッカーやマラソンへの応援が盛んであり一体感がある

●インバウンドに強い

- 外国人旅行者が増えている

未来を見据え、チャレンジすべきこと

CHALLENGE

●関係人口の拡大

- 若者が交流できる機会の創出（大学生と地域など）
- 好きと言ってもらえる人を増やす
- 松本の良さ・魅力を体験できるコンテンツの整備
- リモートワーク等でどこに住んでいても働く場所があるので、人として住みやすさを追求する

●移住・定住しやすい環境づくり

- 移住しやすい環境整備
- 地域でも良さ・魅力を共有する

●若者の定住促進

- 大学、企業、市が若者流出防止に一体となって取り組む
- 就職先の紹介（特に大学生）
- 大学生や20～30代の若者が住み続けたいと思わせるまちづくり
- 観光以外で遊べるリフレッシュできる場を増やす

●若者の町会への加入を促進

- 若者の町会への加入を促進

●シティプロモーションの実施

- 松本の良さを広める
- 地域でも良さ・魅力を共有する

●多様性を認め合えるまちの実現

- 外国人、移住者、若者、子ども、女性、AIに優しいまちにする

松本の課題・改善点

●交流の場が少ない

- 職場・学校以外での交流の欠如
- 気軽に集まれる場所が少ない

●若者が少ない、関わりが少ない

- 若者が少ない
- 若者と地域との関わりが少ない
- 大学生と住民との交流が少ない

●松本の良さを認識していない

- 地元の人が松本の良さを認識していない
- 若者が少ない
- 街に関する情報が少ない

社会基盤（交通・道路整備・都市基盤）

- **自動運転の普及**
 - ・ 自家用車・バス・電車等での自動運転の発達
 - ・ 自動車を使わなくなる
- **自動車運転の変化**
 - ・ 自動車免許の取得に年齢制限がある
- **エネルギーの変更**
 - ・ クリーンエネルギーの自動車の普及
- **インフラの整備**
 - ・ 市のインフラ機能が中心部に集中する
- **高速交通網の整備**
 - ・ リニア新幹線が松本まで延伸し利便性が向上
- **新たな運搬手段の導入**
 - ・ 大都市へのアクセスの短時間化
 - ・ 空中移動等の技術開発により交通課題が解消
 - ・ ドローンが空中で渋滞。交通安全教室の対象がドローンになっている
 - ・ 2020年と変わらず道路は狭いが、渋滞は起きなくなっている
- **道路での移動が減る**
 - ・ 道路が減る
 - ・ 人口減少により渋滞がなくなる

2060年頃の松本の未来予測

松本の良さ・強み

- **水道水がおいしい**
 - ・ 井戸・水道が整備され、水がおいしい
- **市街地がコンパクトで便利**
 - ・ 市街中心部がコンパクトで便利
- **他都市へのアクセスが良い**
 - ・ 県内唯一の空港がある
 - ・ 首都圏に3時間ほどで行ける
- **交通マナーが良い**
 - ・ 車の運転のルールが守られている

松本の課題・改善点

- **道路状況が悪い、駐車場の不足**
 - ・ 駐車場・駐輪場の不足（特に中心市街地）
 - ・ 渋滞（道路・信号の不整備）
 - ・ 道路の整備状況が悪い（道が狭い、デコボコ。一方通行が多い）
 - ・ 歩道が少ない
- **公共交通網を改善してほしい**
 - ・ 自動車・自転車の運転マナーが悪く、取り締まりも弱い
 - ・ 自家用車が前提の交通網
 - ・ 公共交通網が悪い、少ない、不便
 - ・ バスの遅延（街中の渋滞ではなく、ダイヤ自体に無理がある）
 - ・ 市内や周辺への交通の便が悪い
- **広域交通網を改善してほしい**
 - ・ 特急あずさが遅い（東京までの所要時間が長い）、遅延が多い
 - ・ 県外へのアクセスがしづらい
 - ・ 電車が少ない

未来を見据え、チャレンジすべきこと

CHALLENGE

- **車に頼らず生活できる環境づくり**
 - ・ 車を使った生活を当たり前にしない
 - ・ バス等の公共交通機関の充実
 - ・ 観光地への公共交通の充実
 - ・ ノーマイカーの導入
 - ・ 市民の習慣を変える取組みの実施
 - ・ 中心市街地の交通事情の改善に向けた交通課題の共有
 - ・ 中心市街地で、自転車をより多く使える環境を整備することに注目する
 - ・ 中心市街地の自動車の乗入れを規制
 - ・ シェアリングの意識づくり
- **交通マナーの解消**
 - ・ マナーとルールを再確認し、混雑を解消する（特に市街地）
- **自動運転の普及に向けた取組み**
 - ・ 自動運転への対応を見据えた道路整備
- **広域交通網の改善**
 - ・ 渋滞の解消
 - ・ 首都圏へのアクセスの改善
- **景観の改善**
 - ・ 看板を美的で内容がわかるようにする

2. Webでの意見収集結果

Webでの意見収集の実施概要

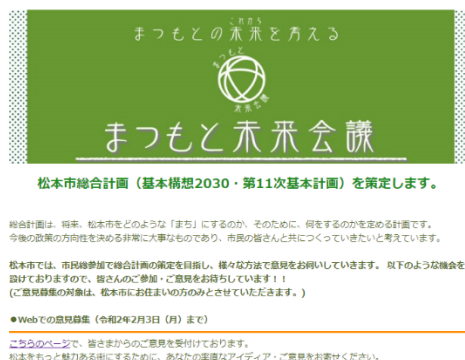
目的

- ワークショップや意見収集している公共施設に足を運ぶことができない市民からも、幅広くまちづくりに対する意見を得るために実施。

実施方法

- Web上に意見収集のための特設ページを開設。
- 市や事務局のホームページやFacebook、広報まつもとなどで周知。

- 選択式と記述式の設問を織り交ぜ、誰でも回答しやすい方式で実施。
- 「大切にすべき松本らしさ」や「これからの10年で、どのようなまちになってほしいか」など、今後のまちづくりについては自由記述で意見を収集



まつもとの未来を考える
まつもと未来会議

松本市総合計画（基本構想2030・第11次基本計画）を策定します。

総合計画は、将来、松本市をどのような「まち」にするのか、そのために、何をやるのかを定める計画です。今後の政策の方向性を決める非常に大事なものであり、市民の皆さんと共に考えていきたいと考えています。

松本市では、市民の皆様で総合計画の策定を目指し、様々な方法で意見をお伺いしていきます。以下のような機会を設けておりますので、皆さんのご参加・ご意見をお待ちしています！！
(ご意見募集の対象は、松本市にお住まいの方のみとさせていただきます。)

●Webでの意見募集（令和2年2月3日（月）まで）
こちらのページで、皆さまからのご意見を受け付けております。
松本をもっと魅力ある街にするために、あなたの貴重なアイデア・ご意見をお寄せください。


実施期間

- 令和元年11月1日（金）から令和2年2月3日（月）まで

回答者数

59人

Web意見募集の入力フォーム



松本市総合計画策定に向けて、みなさん
のご意見をお寄せください

1. 性別

男性
 女性

2. 年齢

選択 ▼

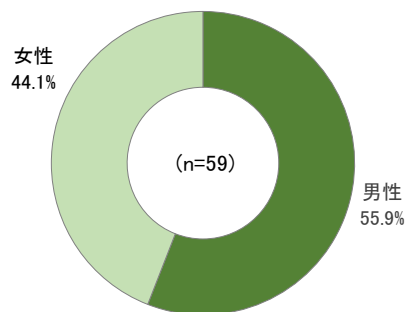
3. 職業

選択 ▼

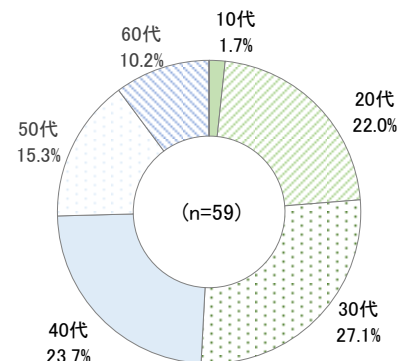
回答者の属性

- 年代は30代以下が50.8%を占めており、若年者の回答が多い。
- 居住年数は1年未満から50年以上まで様々だが、松本市に住み続けたい（「永住したい」「当分住み続けたい」を合わせた数値）との回答が82.7%となっており、回答者の松本市での居留意向は高い。

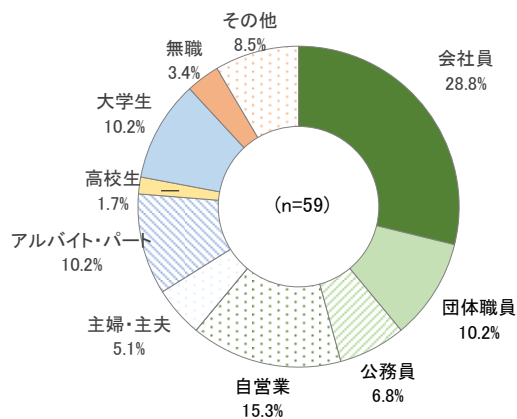
性別



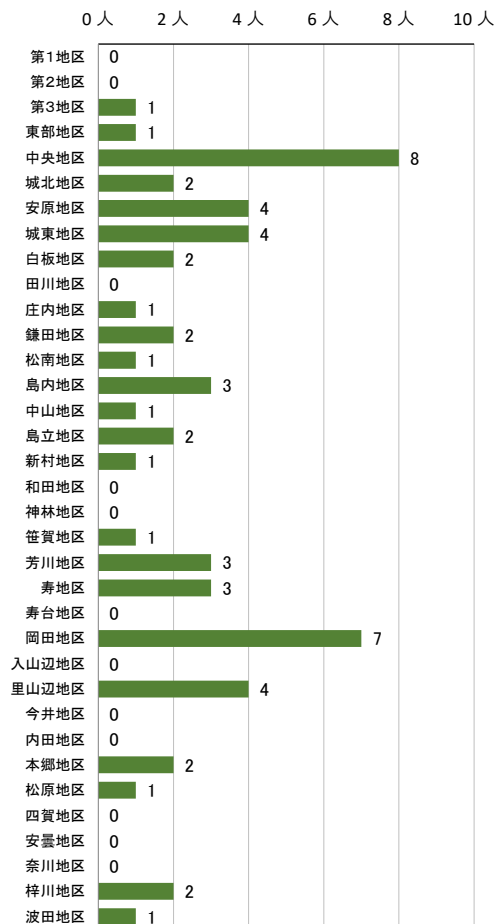
年代



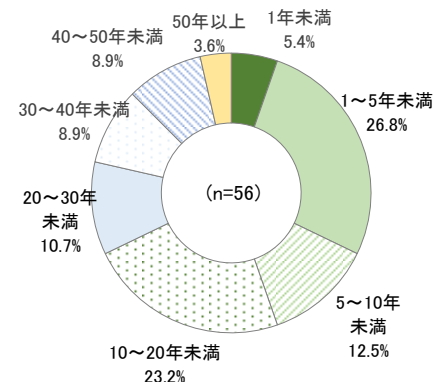
職業



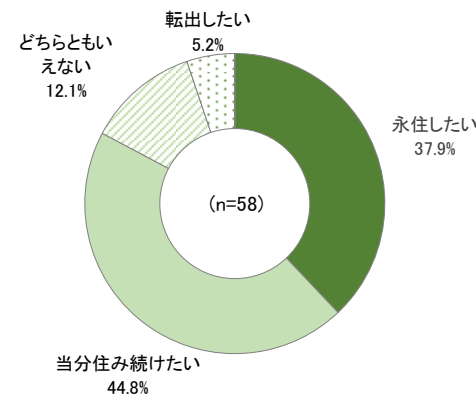
居住地区



居住年数



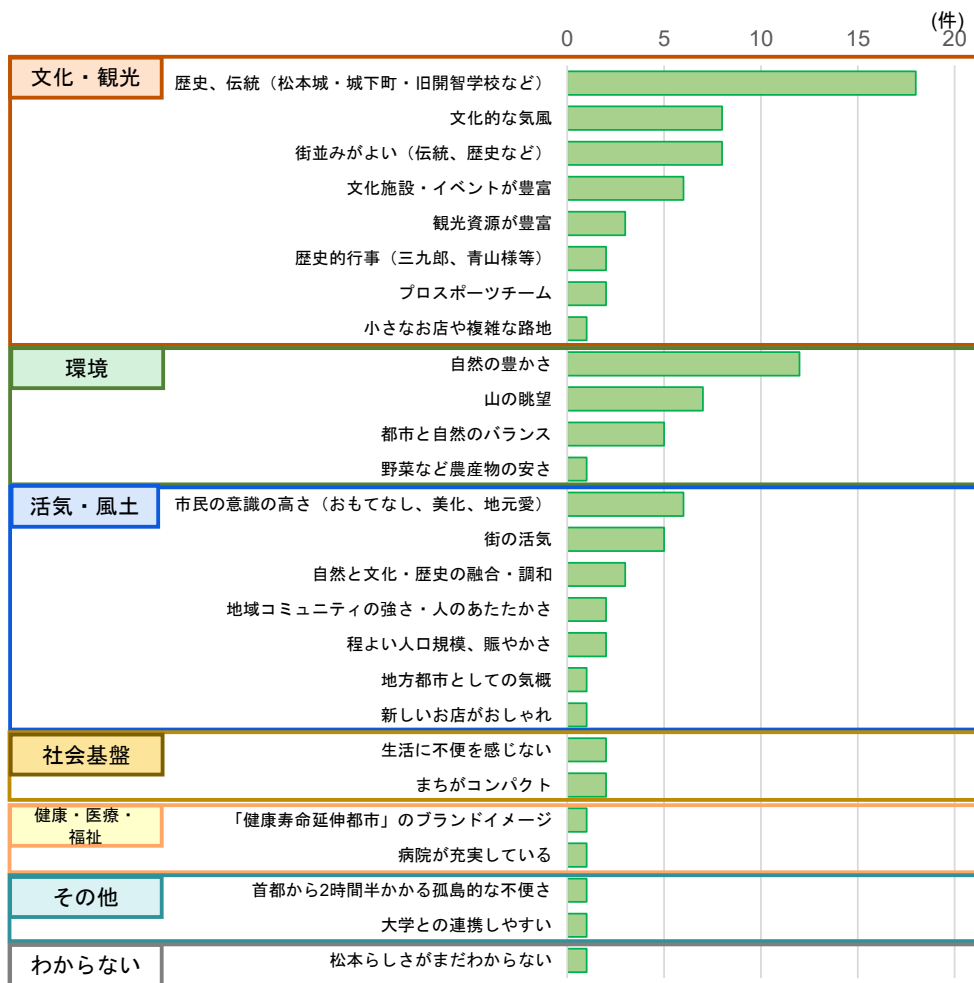
居留意向



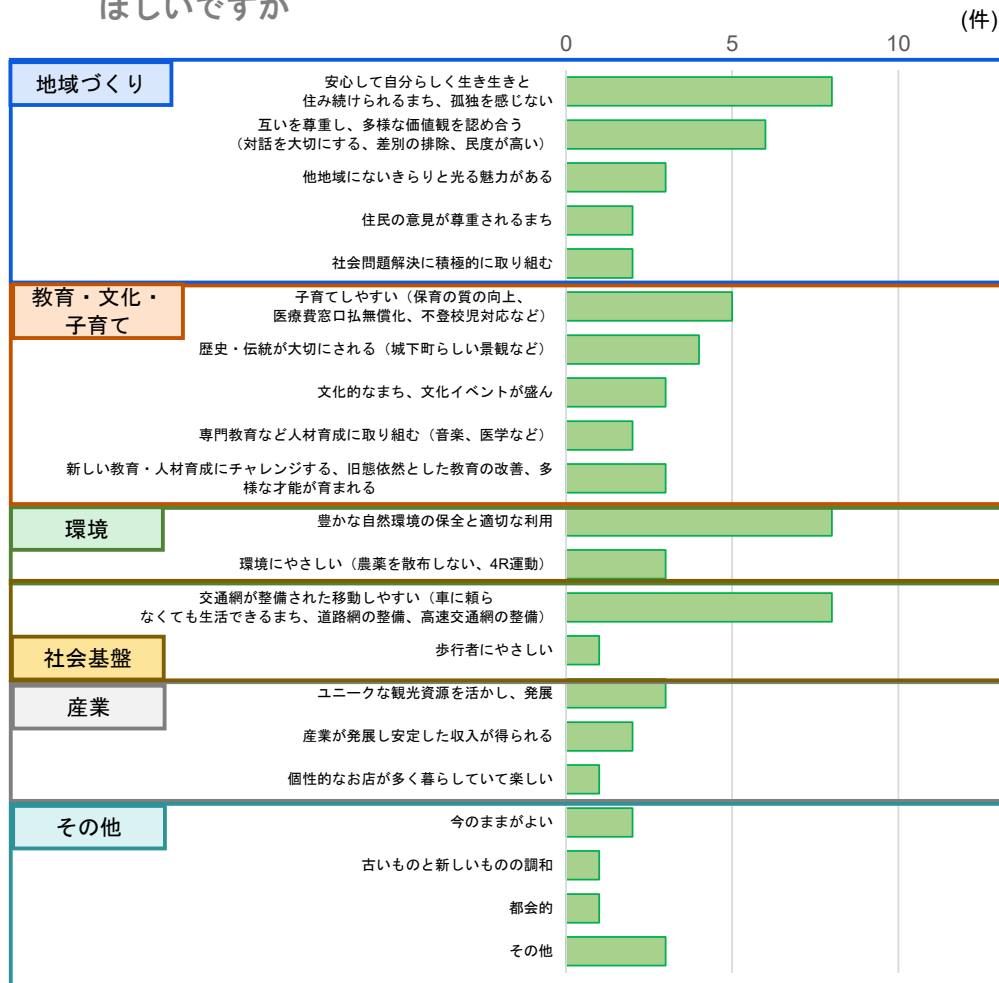
結果

- ▶ 他地域に誇れる「松本らしさ」としては、「文化・観光」を推す声が多。具体的には松本城や旧開智学校に代表される歴史、城下町の街並み、文化芸術関連施設・イベントの多さに象徴される文化的気風である。これらは自然豊かな信州の中でも松本ならではの魅力となっている。
- ▶ 10年後の松本市への期待としては、安心して生き生きと暮らせること、多様な価値観が共存できること、子育てしやすいことなどの意見が出ている。また、自然との共存・共栄や、交通網の充実を期待する声も多い。

Q. 大切にすべき「松本らしさ」や「自慢できること」

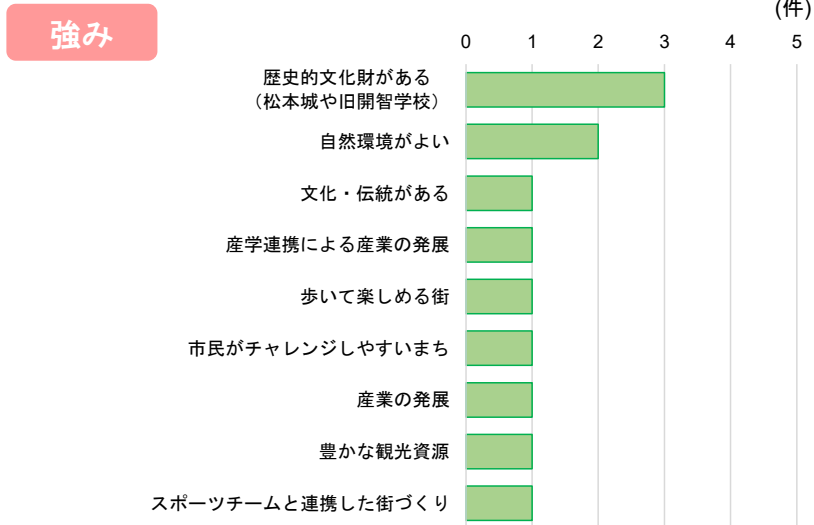


Q. これからの10年間で松本市に「どのようなまちに」なってほしいですか

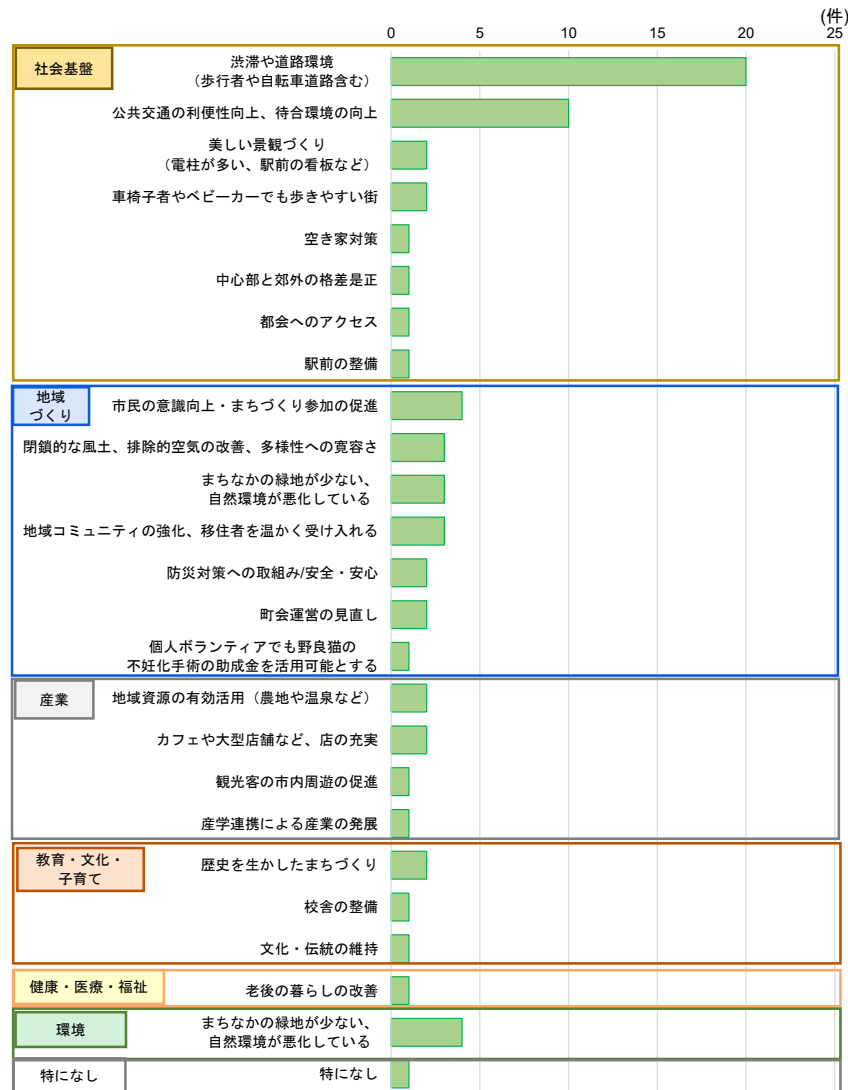


- 今後「さらに伸ばすべき松本の強み」としては、歴史的文化財や自然環境に関する声が多い。
- 課題としては「社会基盤」に関する声が最も多い。道路渋滞や道路整備、公共交通の利便に関する意見が多い。「地域づくり」に関する声も多く、開放的な雰囲気のもと、地域コミュニティも活用しながら、市民参加型のまちづくりを期待する意見があがっている。

Q. さらに伸ばすべき松本の強みや、生活する中で感じている改善が必要なところ

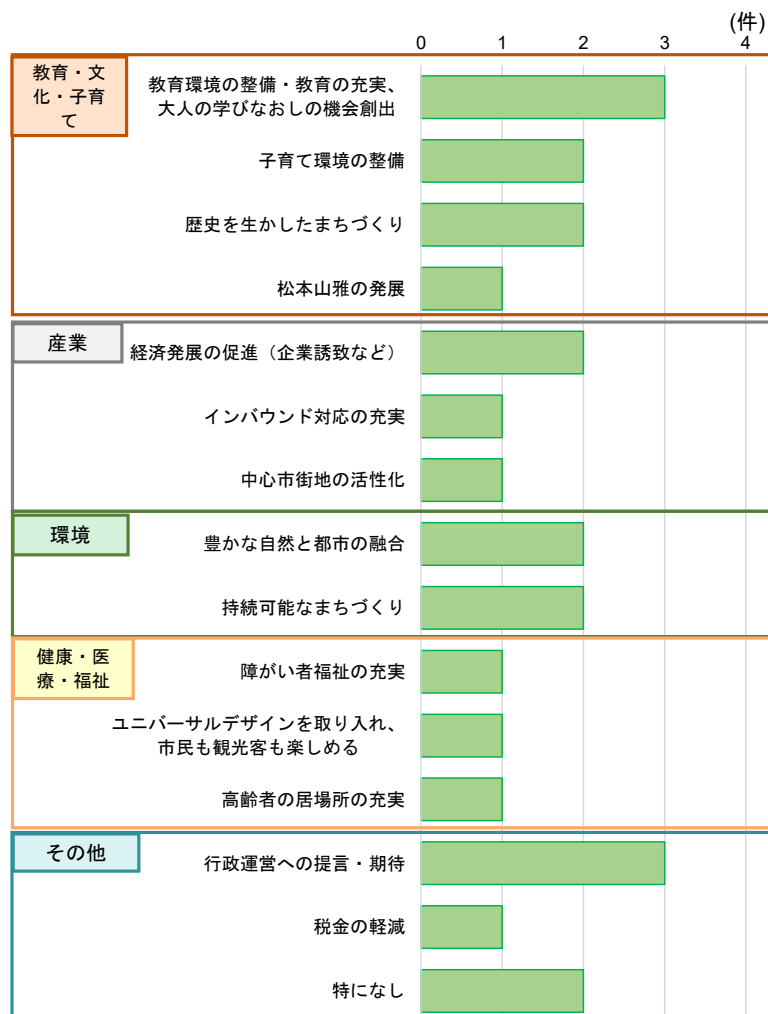
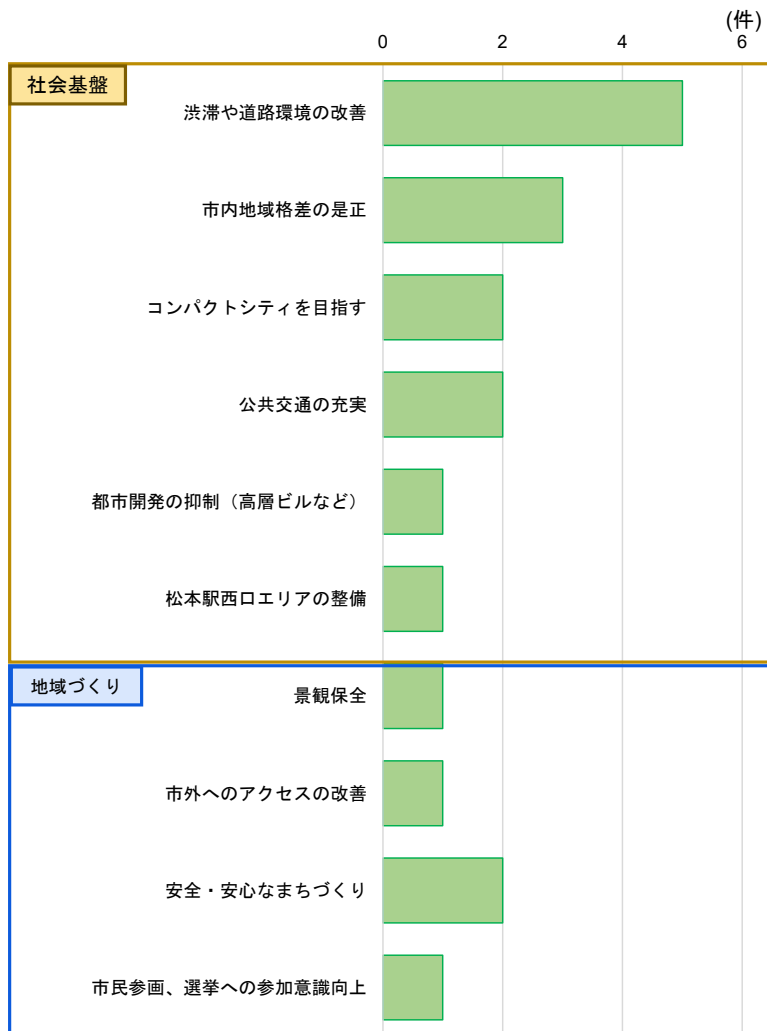


課題



- 自由意見では、松本市の抱える課題の解消を求める声が多い。なかでも「社会基盤」については、渋滞や道路環境の改善を期待する声が多い。
- 「教育・文化・子育て」については教育・子育て環境の整備を望む声が多い。

Q. 最後に、今後の松本市のまちづくりに関するご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。



3. 公共施設での意見収集結果

公共施設での意見収集の実施概要

目的

- 公共施設に訪れた市民に気軽に、意見を寄せてもらうことを目的に実施した。

実施方法

- 公共施設内に今後のまちづくりへの考え方を問う、模造紙を掲示
- 他の市民の考えも見ながら、シールや付箋を貼ることで気軽に意見を出せる方式

掲示施設

◆市内8施設

- Mウイング
- 中央図書館
- なんぷくプラザ
- 市民活動サポートセンター
- 各保健センター（4地区）

実施期間

- 11月19日(火)から12月18日(水)まで

質問内容

- 質問① これからの10年間でどのような地域を目指すべきか、AとBのどちらかに緑色のシールを貼付。
- 質問② 今後10年で伸ばすべき強み・魅力、松本らしさなど意見について付箋への記入を依頼。

公共施設内の掲示資料

まつもとの未来を考える ~まつもと未来会議のまちかど~

松本市では令和3年度から10年間の期間とする新たな総合計画（基本構想2030・第11次基本計画）を策定します。みなさんの声をお聞かせください。

1まつもとの未来予想
2030年、総人口は4.1%減少し（2015年比較）高齢化率は30.7%になると予想されています。

人口減少、少子化・高齢化が進行することで、松本市の財政も厳しくなることが予想されます。

これらの10年間を見据え、伸ばすべき強み・魅力、松本らしさなど、ご意見をお聞かせください。

※こちらに付箋を貼ってください！

これから10年間を見据え、松本市はどのような地域を目指すべきだと思いますか。次の項目のAとBの意見について、あなたのお考えに近い方に緑色のシールを貼ってください！

Aに近い場合、こちらにシールを貼ってください

Bに近い場合、こちらにシールを貼ってください

| | |
|--------------------------|----------------------------------|
| A: 松本市の強みを集中的に伸ばしていく地域 | B: 様々な分野に均等に力をいれていく地域 |
| A: 新しいことを積極的に取り入れる地域 | B: 現状を維持していく地域 |
| A: 松本市の歴史や産業を大切に、お金を稼ぐ地域 | B: お金を稼ぐことにはおろそか、心豊かな暮らしを大切にする地域 |
| A: 行政が主体となって地域の運営を行う | B: 住民と行政が協働で地域の運営を行う |
| A: コミュニティ内で助け合える地域 | B: お互いのことに干渉しない、個人が自立した地域 |

松本市総合計画策定にあたっては、ワークショップも開催します！まつもとの未来や魅力についてご意見を伺う場となります。ぜひご参加ください！

大学生から見る松本の魅力を語る 松本の未来をみんなで考える

◆対象 市内在住の大学生 専一～4年生
◆日時 令和3年12月15日（日）
①午前10時～11時30分
②午後3時～4時30分
◆会場 松本市役所大ホール
定員 20人

◆対象 市内在住の方
◆日時 令和3年1月1日（日）
①午前10時～11時30分
②午後3時～4時30分
◆会場 松本市役所大ホール
定員 20人

松本近郊で働き始めた方から見る松本

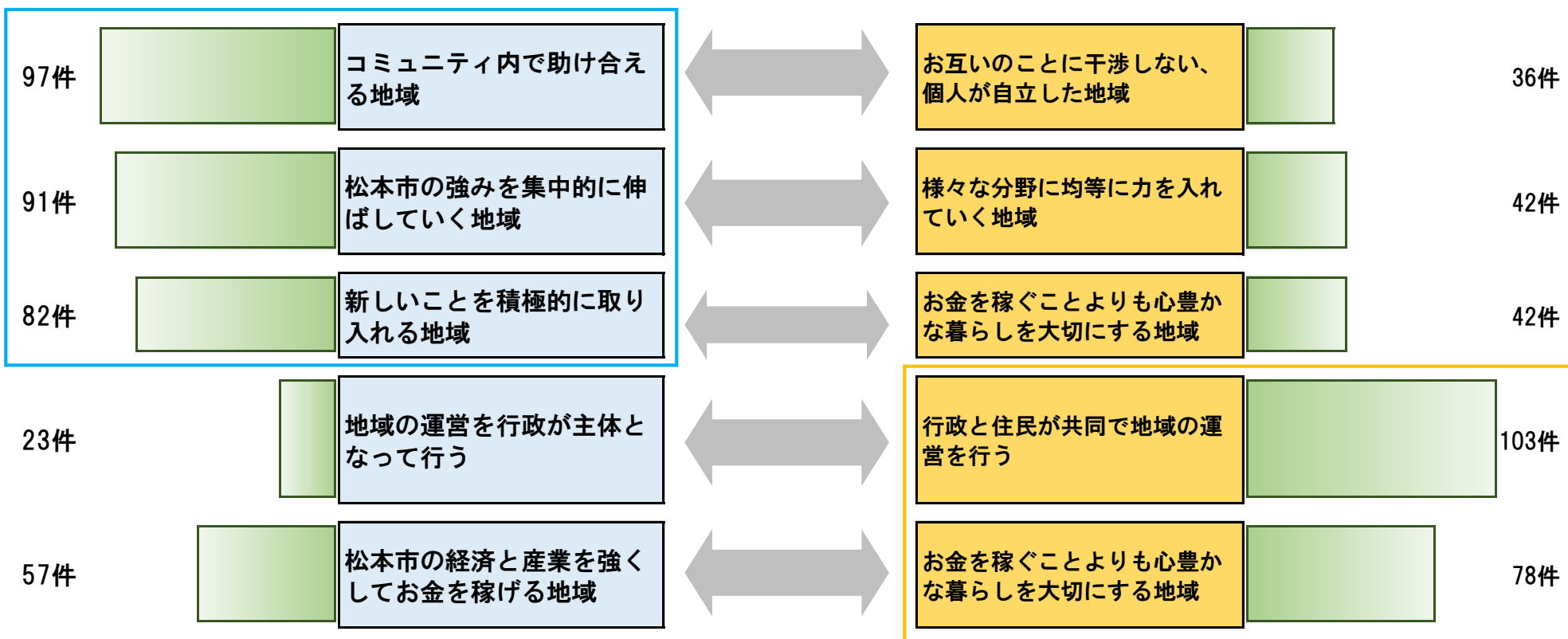
◆対象 松本市近郊に働き出した20～30代の方
◆日時 令和3年1月19日（日）
午前10時～11時30分
◆会場 松本市役所大ホール
定員 20人

◆対象 松本市在住の方
◆日時 令和3年1月25日（土）
午前10時～11時30分
◆会場 松本市役所大ホール
定員 20人

※今回いただいたご意見は松本市総合計画策定に関する補償資料として活用します。

- コミュニティ内で助け合い、地域の強みを伸ばし、新しいことを積極的に取り入れ、行政と住民が共同で地域の運営を行い、お金を稼ぐことよりも心豊かな暮らしができる地域を目指すべきとの意見が多かった。

Q. これからの 10 年間を見据え、松本市はどのような地域を目指すべきか



- これからの10年間を見据えた意見としては、移動のしやすさ、美しい自然の保全、子育て環境の充実を望む声が多かった。次いで多かったのは、内外への松本の魅力発信を重視する声であった。公共施設の訪問者であり、自習室に対するニーズも見られた。

Q. これからの10年間を見据え、伸ばすべき強み・魅力、松本らしさなどご意見

●移動しやすいまちにしてほしい

- 松本駅から松本城、旧開智学校へのアクセス情報の発信
- 駐車場不足
- 道路、自転車道、歩道の整備
- 渋滞の解消
- 電線の地中化
- あずさ回数券やあずさ往復フリーの復活

●自然の美しさを大切にしていきたい

- 自然の美しさ、水のおいしさ、空気のキレイさは素晴らしい。これから先も守っていきたい
- それでいて都市の快適さもある。この丁度良いバランスを大切にしていきたい
- 美ヶ原～北アルプスの景観を大切にする
- 都会から「それでも来たい」を大切にする

●子育て環境の充実してほしい

- 子育てしやすい
- 遊べる施設をまとめたマップがあるとよい
- 保育園を増やしてほしい
- 保育士の賃金アップ
- インフルエンザ予防接種に補助
- 高校、大学での経済的負担が大きい

●内外に松本の魅力を発信する

- 駅周辺に松本の名産品などが分かるようなパネルや施設があるとよい
- 「知らされるスポット」の紹介
- 松本市民にとって「当たり前なもの」が外の人にとっては魅力的だったりするので、発掘し、発信する

●自習室がほしい

- もっと広い誰でも使える自習室を作ってほしい
- 複合的で人の行き来が多い公共施設をつくってほしい

●雇用の創出

- 共働きでなくても経済的に安定した暮らしができるとよい
- 若者(主に高・大学生)が松本市で就職したくなるインセンティブを与える
- 若者の就職先の確保

●松本駅周辺を松本城周辺を賑やわいの創出

- 松本駅周辺や城下町の活気
- 駅のお城口の景観の改善が必要
- スポットが点在し、相乗効果が生まれていない

…大きさはおよその意見の多さを示している。

●災害に強いまち

- 豪雨対策

●現存する建築物の利活用の促進

- 現存する建築物を利活用する
- 市街地外の古い住宅の活用

●図書館までの道路環境の改善

- 日が沈むと図書館に来る道が暗く怖い。街燈を増やしてほしい
- 図書館への道路の改善

●その他の意見

- 市財政の健全化を図り、重点政策に集中してほしい
- 健康寿命延伸都市
- Free Wi-Fiを増やしてほしい
- 小学校の英語の授業が少ない
- 私たち市民の声が直接届けられる機会を増やす
- 本広域を考えた場合、本庁舎の場所は再検討してもよいのではないか
- 安全安心に暮らしたい
- 観光の受入環境づくり